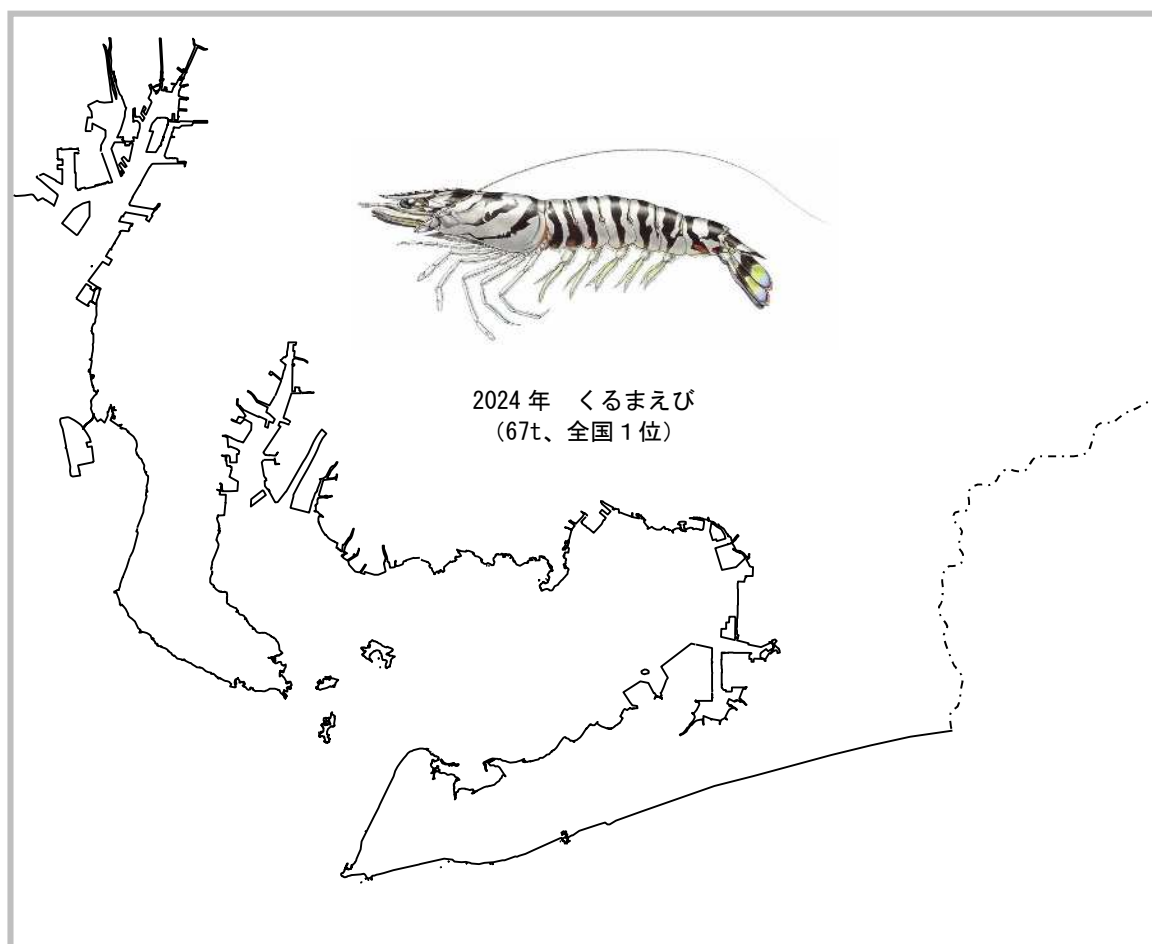


水産業の動き

2026



食と緑の基本計画 2030 の施策体系

施策体系 1 農林水産業の未来を担う人材の確保・育成

- (1) 新たな担い手の確保
- (2) 強い農林水産業を担う人材の育成
- (3) 多様な人材による労働力の確保

施策体系 2 生産力の高い農林水産業の実現

- (1) 新技術・新品種の開発・普及
- (2) 生産基盤の強化
- (3) 生産・流通体制の強化

施策体系 3 農林水産物の需要拡大と農山漁村の魅力発信

- (1) 国内外の需要開拓
- (2) 食と緑の理解醸成
- (3) 農山漁村の活性化

施策体系 4 安全で良好な暮らしを支える農山漁村地域づくり

- (1) 防災・減災対策の推進
- (2) 持続可能なインフラマネジメントの推進
- (3) 地域の快適な環境の確保

施策体系 5 環境と調和のとれた持続的な農林水産業の実現

- (1) 環境負荷低減の推進
- (2) 環境変化への対応
- (3) 持続可能な生産環境の創出

は じ め に

伊勢湾・三河湾は、古来より魚介類の宝庫として知られ、我々の祖先も古くから、豊かな海の恵みを享受してきました。現在でも本県は、総生産量こそ全国中位ではありますが、多くの魚種において全国有数の産地となっており、沿岸域を中心に特色ある水産業が営まれています。

また、本県の水産業は、多種多様な水産物の供給を通じて、豊かで健康的な日本型食生活の維持・発展や食文化の継承に貢献しており、県民の皆様の暮らしを支える重要な役割を担っています。

一方で、水産業をめぐる状況は、海域の栄養塩類の減少等による水産資源の減少、沿岸の各種開発に伴う漁場の喪失、そして就業者の高齢化や新規就業者の減少等の諸問題に加え、近年では、昨今の国際情勢による燃油価格等の高騰なども加わり、依然として厳しい状況が続いています。

こうした中、本県では2021年3月に策定した「愛知県漁業振興計画」に基づき、将来に向けて本県の水産業が持続的に発展していくための必要な施策に取り組んでいるところです。

本書は、各種施策を効果的に実施するための基礎資料とするとともに、広く関係者に利用していただくため、県内水産業の動向を総合的にとりまとめたもので、1961年度から刊行を続けており、2010年度からは電子データで公表しています。

皆様に、本県水産業に対する理解を深めていただくとともに、水産業振興の一助としてご活用いただければ幸いです。

2026年9月

愛知県農業水産局長

主な統計用語の説明

1 漁業経営体

(1) 海面

漁業及び養殖業を含みます。調査期日（最新数値は2023年11月1日）前1年間に、利潤又は生活の資を得るため販売を目的として、水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯または事業所をいいます。（ただし、年間の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除かれています。）経営体は、5年に1回の漁業センサスで調査されています。

(2) 内水面（養殖業）

県水産試験場が行う養殖衛生指導の対象としている経営体をいいます（最新数値は2025年2月末）。なお、調査対象はうなぎ、こい、ます類、あゆ、きんぎょ、その他（ちょうぎめ等）を養殖している経営体です。

2 漁業就業者

海面漁業及び養殖業を含みます。調査期日（2023年11月1日）現在満15歳以上で、過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した人をいいます。5年に1回の漁業センサスで調査されています。

3 生産量

(1) 海面

海面漁業漁獲量、海面養殖業収獲量の総称で、乗組員の船内食用、自家用、自家加工用、販売活餌等を含みます。全ての水産動植物の採捕時の原形重量であり、藻類は採捕時の生重量、貝類は殻付の重量です。

(2) 内水面漁業

河川・湖沼において採捕された水産動植物の量をいいます。本県の数値は、天然産種苗の採捕量及び自家用を含むほか、漁業権が設定されている全ての河川・湖沼における組合員・遊漁者の採捕量を含みます。一方、全国数値は2006年以降、販売を目的として漁獲した数量となり、2009年から、漁業権等が設定された年間漁獲量50t以上の河川及び湖沼並びに国の施策上毎年の調査が必要な河川及び湖沼（108河川21湖沼）に限定され、本県内の調査対象河川は主要河川（本県は4河川）のみです。なお、貝類の数値は内水面漁業生産統計調査の数値を用いています。

(3) 内水面養殖業

内水面養殖業経営体が食用を目的に収獲した量をいいます。自家用を含みますが種苗販売量は含めません。なお、調査対象は主要4魚種（ます類、あゆ、こい、うなぎ）のみです。

4 産出額

国の調査で得られた魚種別生産量に、魚種別産地市場価格を乗じて県水産課が推計したものです。生産者の手取価格ではなく、販売手数料、輸送費等の販売諸経費を控除せず、また歩戻しを含めない、いわゆる産地市場価格です。2015年度数値から、国の統計用語が「生産額」から「産出額」に改められました、内容は従前と同じです。

なお、内水面の産出額は2003年の統計から調査対象外となったため、県水産課が生産量と全国平均単価により推計しています。

5 水産加工品（加工水産品）

水産動植物を主原料（50%以上）として製造された食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいいます。なお、2001年調査から生鮮冷凍水産物のうち海産ほ乳類及び塩蔵品等、並びに寒天、油脂、飼肥料の調査が中止されました。

記号

「－」：事実のないもの、「0」：単位に満たないもの、「…」：事実不詳又は調査を欠くもの、「x」：統計法の規定により、秘密保護上統計数値を公表しないもの

[水産業動向編]

目 次

1 愛知の水産業	
○愛知県水産業の主要指標	1
○県内産業のなかの水産業	2
○本県水産業の全国位置	3
2 漁業経営	
○漁業経営体の動向	4
○水産業協同組合の動向	5
3 漁業生産の基盤	
○漁船・漁港の動向	6
○漁場・漁村の動向	7
○漁場環境の動向	8・9
○栽培漁業の動向	10
○資源管理の動向	11
4 漁業生産	
○漁業総生産の動向	12
○海面漁業生産の動向	13
○海面養殖生産の動向	14
○内水面漁業・養殖業の動向	15
5 流通加工	
○水産物流通の動向	16
○水産物輸出入の動向	17
6 技術の開発・普及	
○水産試験場の研究成果	18・19
7 時の話題	
○食と緑の基本計画2030及び 愛知県農林水産業の試験研究基本計画2030（水産部門）について	20・21
○伊勢湾・三河湾の水質類型指定の見直し	22・23
○栽培漁業センターに新たな生産棟が完成	24・25
○天然アユを活用した放流技術開発の取組について	26・27
[資料編]	28～47

1 愛知の水産業

愛知県水産業の主要指標

区 分	単 位	愛 知 県			全 国		備 考
		2019年	2024年	24年/19年	2024年	24年/19年	
海面漁業経営体(A)	経営体	(18年)1,924	(23年)1,640	85.2	(23年)65,662	83.0	漁業センサス
海面個人経営体(B)	経営体	(18年)1,849	(23年)1,573	85.1	(23年)61,388	82.4	漁業センサス
(漁家率B/A)	%	96	96	—	93	—	
海面漁業就業者数	人	(18年)3,373	(23年)2,861	84.8	(23年)121,389	80.0	漁業センサス
内水面養殖経営体	経営体	(18年)214	(23年)171	79.9	(23年)2,265	83.8	漁業センサス
漁 船 総 隻 数	隻	4,260	3,642	85.5	197,088	87.5	漁船統計表
海 水 動 力 船	隻	4,103	3,533	86.1	186,464	87.6	漁船統計表
海 水 無 動 力 船	隻	25	25	100.0	3,164	79.9	漁船統計表
淡 水 動 力 船	隻	73	55	75.3	5,198	89.7	漁船統計表
淡 水 無 動 力 船	隻	59	29	49.2	2,262	87.6	漁船統計表
漁 業 総 生 産 量	t	75,514	41,887	55.5	3,636,168	86.7	全国値には捕鯨を含まない
海 面 漁 業	t	59,934	27,927	46.6	2,786,195	86.3	
海 面 養 殖 業	t	9,744	8,637	88.6	802,927	87.9	
(のり生産枚数)	千枚	244,550	205,338	84.0	4,988,886	76.9	
内 水 面 漁 業	t	111	77	69.4	17,915	82.3	愛知県は県水産課調べ
内 水 面 養 殖 業	t	5,725	5,246	91.6	29,131	93.6	きんぎょは含まない
き ん ぎ ょ	千尾	6,547	3,621	55.3	—	—	県水産課調べ(*1)
漁 業 総 産 出 額	百万円	40,888	39,490	96.6	1,603,343	109.3	全国値には捕鯨を含む(*2)
海 面 漁 業	百万円	15,873	11,261	70.9	889,390	102.4	全国値には捕鯨を含む
海 面 養 殖 業	百万円	3,516	5,504	156.5	589,075	122.7	
内 水 面 漁 業	百万円	262	177	67.6	14,169	86.6	愛知県は県水産課調べ
内 水 面 養 殖 業	百万円	21,236	22,548	106.2	110,709	107.9	愛知県はきんぎょ(県水産課調べ)を含む(*3)

資料：特に注釈があるものの他は農林水産統計（海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査）

(*1)：前年12月1日から当該年11月30日までの集計値。

(*2)：小数第1位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

(*3)：愛知県の内水面の産出額については、県水産課が全国平均単価を基に推計した。

県内産業のなかの水産業

●水産業の純生産は144億円で9.1%増加

あいちの県民経済計算によると、2023年度の県内全産業の純生産は30兆1,137億円で、前年度に比べ10.6%増加しました。

第1次産業のうち、2023年度の水産業の純生産は144億円で前年度に比べ9.1%増加し、全産業に占める割合は0.05%となっています（A、B図）。

●水産業就業者は全産業就業者の0.1%

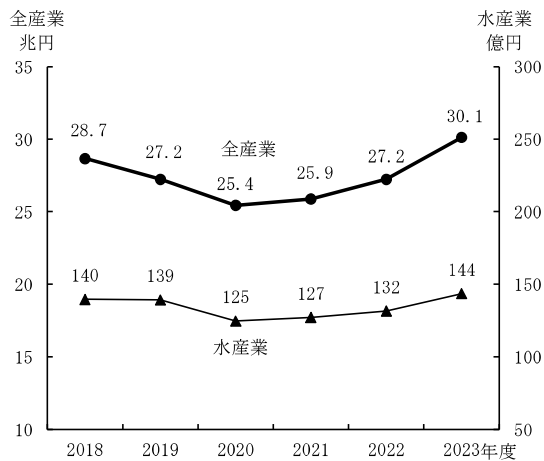
あいちの県民経済計算によると、2023年度的全産業の就業者数（従業地ベース）は4,137千人で前年度に比べ0.2%の増加、第1次産業は80.2千人で前年度に比べほぼ同じとなっています。

このうち水産業の就業者数は3.60千人で、前年度とほぼ同じ、5年前に比べて8.6%の減少となりました（C図）。水産業就業者数の全産業に占める割合は0.1%、第1次産業に占める割合は4.5%となっています。

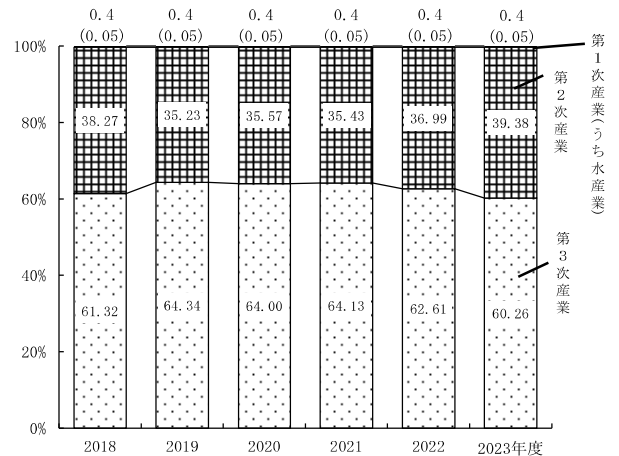
●水産業就業者1人当たりの純生産は約399万円

2023年度的全産業の就業者1人当たりの純生産は728万円で前年度に比べ10.4%増加しました。水産業では399万円で前年度に比べ9.2%増加しており、第1次産業全体の136万円の約2.9倍となっています（D図）。

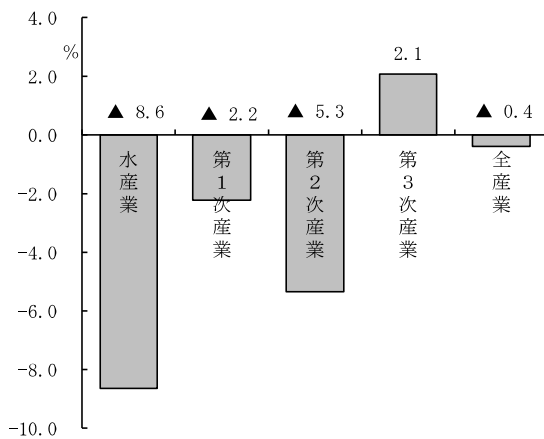
A図 純生産の推移



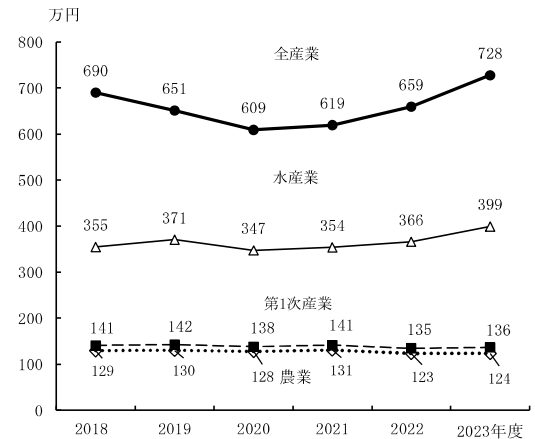
B図 県内総生産の産業別構成の推移



C図 産業別就業者の動向（2023/2018年度）



D図 就業者1人当たりの純生産の推移



（資料 あいちの県民経済計算（A～D図））

本県水産業の全国位置

海面漁業・養殖業において本県の生産量は全国で第22位、産出額は第24位となっていますが（A表）、多くの漁業種類や魚種で上位を占めているのが特色です。

漁業種類別では、小型底びき網、船びき網が盛んで、これらの生産量は全国的にもトップレベルにあります。

魚種別では、くるまえびが第1位、くろだい、がざみ類、あさり類、うなぎ養殖、あゆ養殖、きんぎょ養殖が第2位、しらすが第3位、ふぐ類、すずき類が第4位となっています。全国シェアでは、くるまえびが40.6%、うなぎ養殖が25.5%、あゆ養殖が24.2%、あさり類が23.8%、がざみ類が20.4%と高くなっています（B表）。

A表 愛知県水産業の全国順位（2024年）

海面漁業・養殖業生産量*1			海面漁業・養殖業総産出額		
順位	県名	(t)	順位	県名	(億円)
全国		3,589,122	全国		14,785
1位	北海道	897,524	1位	北海道	2,793
2位	長崎	319,707	2位	長崎	1,174
3位	宮城	227,330	3位	愛媛	1,153
4位	静岡	160,054	4位	宮城	843
5位	愛媛	130,295	5位	鹿児島	793
6位	広島	113,701	6位	高知	604
7位	島根	101,608	7位	兵庫	593
8位	岩手	97,696	8位	静岡	491
9位	宮崎	95,999	9位	青森	446
10位	兵庫	92,136	10位	熊本	437
22位	愛知	36,564	24位	愛知	168

*1 秘匿値及び調査中の値が含まれる都道府県は順位から除外

（資料 海面漁業生産統計調査）

B表 主要な漁業種類・品目の全国順位（2024年）

漁業種類・品目	1位	2位	3位	4位	5位	全国	本県シェア(%)
小型底びき網 (t)	北海道 331,907	兵庫 6,002	愛媛 4,386	愛知 4,161	宮城 3,849	379,357	1.1%
船びき網 (t)	愛知 16,032	広島 15,365	兵庫 11,404	三重 10,507	愛媛 8,114	101,685	15.8%
かたくちいわし(t)	千葉 15,164	広島 14,056	三重 10,362	愛媛 10,251	愛知 10,130	102,699	9.9%
しらす (t)	兵庫 10,787	愛媛 3,051	愛知 2,881	大阪 2,798	茨城 2,714	36,391	7.9%
ふぐ類 (t)	北海道 2,998	新潟 352	石川 262	愛知 244	山口 185	5,859	4.2%
くろだい(t)	兵庫 423	愛知 260	大阪 220	岡山 132	香川 120	2,201	11.8%
すずき類 (t)	千葉 728	兵庫 488	宮城 448	愛知 236	香川 220	4,287	5.5%
くるまえび (t)	愛知 67	愛媛 20	長崎 16	福岡(4位) 15	大分(4位) 15	165	40.6%
がざみ類 (t)	宮城 291	愛知 269	福岡 136	北海道 119	長崎 71	1,316	20.4%
あさり類 (t)	北海道 1,556	愛知 1,057	福岡 1,011	三重 215	熊本 193	4,439	23.8%
のり養殖 (千枚)	兵庫 1,234,190	佐賀 1,137,610	福岡 823,303	熊本 684,389	愛知(6位) 205,338	4,988,886	4.1%
うなぎ養殖 (t)	鹿児島 7,150	愛知 4,255	宮崎 2,635	静岡 1,806	三重 230	16,674	25.5%
あゆ養殖 (t)	岐阜 885	愛知 844	和歌山 605	栃木 305	滋賀 216	3,487	24.2%
きんぎょ養殖(千尾)	奈良 47,200	愛知 3,621	—	—	—	—	—

注) きんぎょ養殖は県水産課調べ。

愛知県きんぎょは、2023年12月1日から2024年11月30日までの集計値のため、単純比較はできない。

（資料 海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ）

2 漁業経営

漁業経営体の動向

●海面漁業経営体は1,640経営体（2023年漁業センサス）

2023年の海面漁業経営体数（概数値、養殖業を含む・年間の海上作業日数が30日未満のものを除く）は、1,640経営体となっています。主な漁業種類別では最も多いのが採貝・採藻の465経営体で28.4%を占め、以下小型底びき網285経営体（17.4%）、刺網171経営体（10.4%）が上位を占めています。

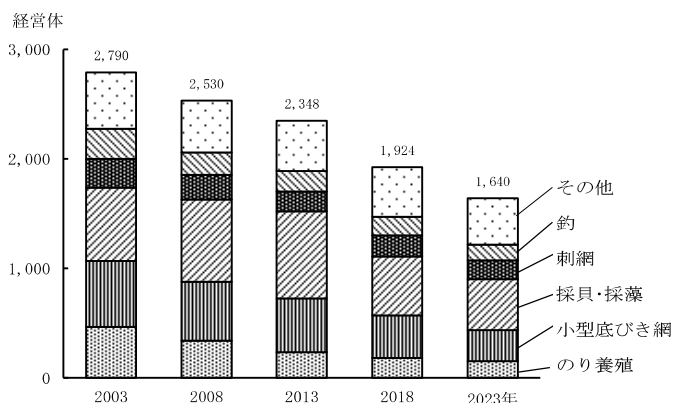
また、海面漁業経営体数は、5年前に比べ284経営体（14.8%）の減少となっています（A図）。

●内水面養殖業経営体数は218経営体（県水産課調べ）

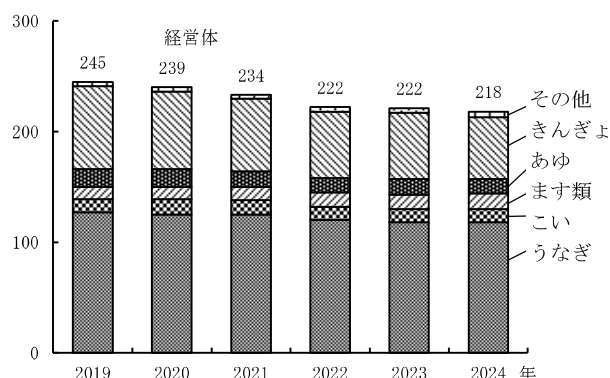
2024年のきんぎょを含めた内水面養殖業の経営体数は218経営体となっています。主な養殖業種類別では最も多いのがうなぎ養殖の118経営体で54.1%と半数を占めています。

また、内水面養殖業経営体数は、5年前に比べ27経営体（12.4%）の減少となっています（B図）。

A図 海面漁業・養殖業種類別経営体数
（30日未満を除く）の推移



B図 内水面養殖業種類別経営体数の推移

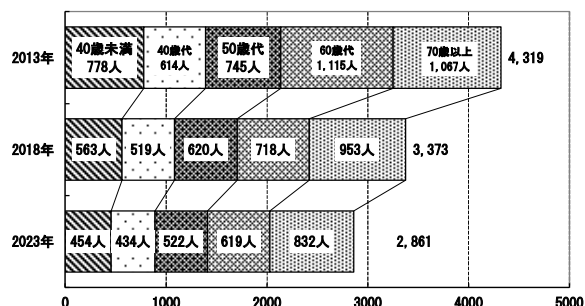


●漁業就業者数は2,861人（2023年度）

2023年（第15次）漁業センサスによると、2023年の愛知県の海面漁業の就業者数は2,861人で、5年前の3,373人と比べると512人（15.2%）減少しています（C図）。

就業者の年齢別内訳は、50歳以上の層が約7割を占め、中でも70歳以上は832人で全体の29.1%を占めており、漁業就業者の高齢化が年々深刻となっています。

C図 海面漁業の就業者数の推移



（資料 漁業センサス（A、C図）、県水産課調べ（B図））

●新規漁業就業者数は22人（県水産課調べ）

県では、各漁業協同組合の協力により新規漁業就業者の調査を毎年行っています。その結果によると、2024年度は全県で22人の新規漁業就業者があり、沿海漁協のうち知多地区が13人、西三河地区が4人、東三河地区が2人、その他業種別漁協が3人となっています。新規漁業就業者数は増加傾向に転じたものの低水準であり、漁場環境の変化等により、水産資源の変動が大きくなったため、漁業経営が不安定になっていることが要因の一つと考えられます。

水産業協同組合の動向

●組合員数は減少傾向、販売事業取扱高はやや低位で推移

水産業協同組合法に基づいて設立された組合は、1960年の134組合をピークに、解散や合併によって減少し、2024年1月1日現在の組合数は51、連合会2となっています。単位組合の組合員数は、2024年度には12,267人となっており（A表）、このうち沿海漁協の正組合員数は2,268人で、10年前に比べ29.5%減少しています（B図）。また、本県では正組合員数が200人未満の小規模な組合が全体の90%を占めています。

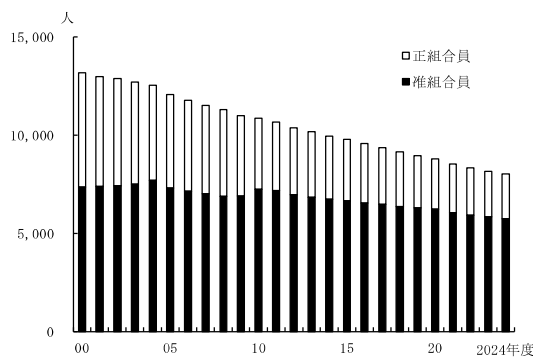
沿海漁協の主要事業である販売事業の取扱高は、1990年の378億円をピークに減少傾向であり、2024年は130億円で、10年前に比べ38.1%減少しています（C図）。

少子高齢化社会の進行、水産資源の減少、消費者の魚離れなど、漁協経営を取り巻く環境が厳しさを増しており、こうした状況を踏まえ、早急に将来を見据えた経営基盤の強化が必要なため、県では漁協の合併を促進しており、2025年度には2組合の合併が実現する等、具体的な取り組みが進んでいます。

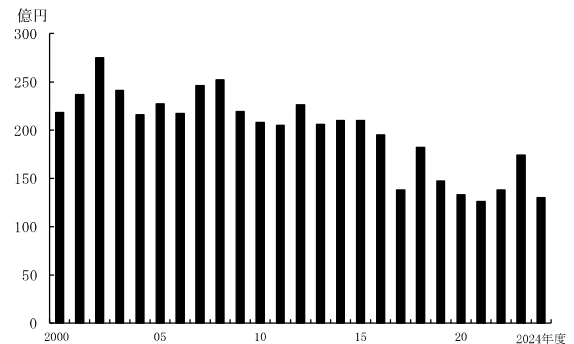
A表 本県の水産業協同組合の概況

年度	区分		沿海漁業 協同組合	内水面漁業 協同組合	業種別漁業 協同組合	水産加工業 協同組合	漁業生産組合	計	連 合 会
2024	組合数		21	19	6	0	5	51	2
	組 合 員 数	正	2, 268	3, 167	389	0	38	5, 862	44
		准	5, 753	518	134	0	0	6, 405	0
		計	8, 021	3, 685	523	0	38	12, 267	44

B図 沿海漁協の組合員数の推移



C図 沿海漁協の販売事業取扱高の推移

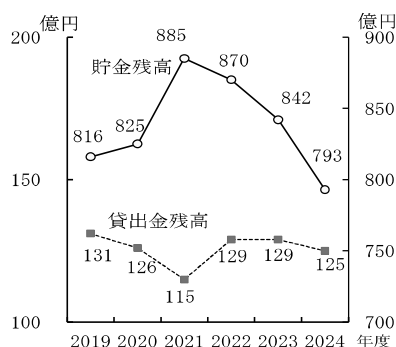


(資料 県調べ (B、C図))

●漁業金融

漁協等の系統団体は、漁業生産活動に必要な資金融資を行うことにより、漁業にとって重要な役割を果たしています。2024年度末における漁協系統貯金残高は、対前年度比5.9%減の793億円、貸出金残高は同2.8%減の125億円でした（D図）。また、県では、漁業者等の資金需要に対応するため、制度資金を設け、利子補給などにより漁業経営の支援を行っています（E表）。

D図 漁協等の貯金及び貸付金残高の推移



E表 制度資金の概要

区分	融資機関	利率		目的
		貸付利率	利子補給率	
漁業近代化資金	信漁連	年2.50% 【20t以上漁船】 年2.50%	年0.40～1.25% 【20t以上漁船】 年1.25%	経営の近代化等に必要な漁船、漁具、養殖施設等の取得促進
漁業振興資金	信漁連	年2.00～2.40%	—	短期の運転資金等
沿岸漁業改善資金	県 (窓口は信漁連)	無利子		沿岸漁業従事者等が漁業経営の健全な発展、漁業生産力の増大を図るため

(2026年3月18日現在)

(資料 県水産課調べ)

3 漁業生産の基盤

漁船・漁港の動向

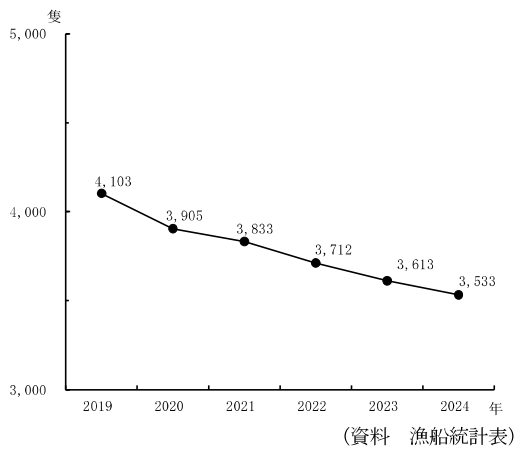
●漁船隻数はやや減少

2024年の海水動力漁船の隻数（漁船統計表、2024年12月31日現在）は、前年に比べ80隻減少して3,533隻となっています（A図）。

●漁港への陸揚量

本県の指定漁港は、第1種漁港（利用範囲が地元の漁業を主とするもの）が17港、第2種（利用が第1種より広く第3種に属さないもの）が13港、第3種（利用が全国的なもの）が3港、第4種（避難港等）が1港であり、このうち11港が県管理、23港が市町管理漁港です。漁港における2024年の陸揚量は、34,780 tと前年から20.8%減少しました（B表）。県では、2022年度から2026年度までの第5次漁港漁場長期計画に基づき、計画的に漁港整備を実施しています（C表）。

A図 海水動力漁船隻数の推移



B表 漁港における陸揚量の推移

年	漁港の種類				合計
	第1種	第2種	第3種	第4種	
	単位:t	単位:t	単位:t	単位:t	
2019	3,234	32,635	22,260	416	58,545
2020	3,034	30,675	19,942	536	54,188
2021	3,254	30,979	17,651	478	52,362
2022	2,753	23,472	12,154	300	38,679
2023	1,981	27,361	14,381	198	43,920
2024	1,544	20,789	12,201	246	34,780

(資料 県水産課調べ)

C表 第5次漁港漁場整備長期計画等に基づく整備計画（2022～2026年度）

	事業名	港数	漁港地区名
国庫補助事業	水産流通基盤整備事業	1	師崎
	水産物供給基盤機能保全事業	19	鬼崎、小鈴谷、上野間、豊浜、師崎、篠島、日間賀、大井、大浜、一色、宮崎、寺津、衣崎、西幡豆、蜷川、知柄、形原、福江、赤羽根
	漁港施設機能強化事業	10	鬼崎、豊浜、篠島、栄生、佐久島、西幡豆、知柄、形原、福江、赤羽根
	漁村整備事業	1	日間賀
県単独補助事業	漁港有効活用等整備事業	9	大野、苅屋、河和、山海、佐久島、味沢、宮崎、宇津江、姫島

漁場・漁村の動向

●漁場の整備

県では、内湾から外海まで県域全体の水産資源増大と漁場環境改善を図るため「あさりとさかな漁場総合整備事業」を行っており、2025年度はあさり漁場となる干潟・浅場を三河湾（西尾市及び田原市地先）で8.9ha造成するとともに、渥美外海のさかな漁場となる魚礁を2,209空 m^3 整備しました。また、冬季波浪によるあさりの減耗対策として「貝類増殖場造成事業」を実施しており、2025年度は美浜町地先と蒲郡市地先に割ぐり石を利用した増殖場を1.5ha、西尾市地先に砂利を利用した増殖場を2.0ha造成しました（A表）。

A表 2025年度の漁場整備実績

事業	内容	場所	事業量
あさりとさかな漁場総合整備事業	干潟・浅場造成	西尾市地先	6.7 ha
	干潟・浅場造成	田原市地先	2.2 ha
	魚礁設置	渥美外海	2,209 空 m^3
貝類増殖場造成事業	貝類増殖場造成（割ぐり石）	美浜町地先	0.5 ha
		蒲郡市地先	1.0 ha
	貝類増殖場造成（砂利）	西尾市地先	2.0 ha

●共同利用施設などの整備

県では、水産業の強い産地づくりを進めるため、地域の拠点となる施設整備へ重点的な支援を行っています。2025年度は漁業・漁村を取り巻く厳しい環境や食の安心安全等に関わる課題に対応する施設の重点的な整備として、県単独事業の漁業生産力強化総合対策事業により、南知多町を始め6市町が実施する施設等の整備に対し支援を行いました（B表）。

B表 漁業生産力強化総合対策事業実績

事業種目	実施件数	実施内容
地先漁場生産力向上事業	1	築いそ
衛生管理強化事業	1	水産物荷さばき施設附帯施設
就労環境改善事業	10	運搬施設、種苗生産施設の附帯施設等
機能統合推進事業	1	合併など漁協の機能統合により不要となった施設
合 計	13	

漁場環境の動向

●赤潮は長期的な増加傾向は見られない

赤潮は、植物プランクトンが異常に増殖して海水が赤色などに変色する現象です。多くの場合、漁業への影響はなく、二枚貝などの餌となりますが、一部の種は漁業被害を引き起こすことがあります。

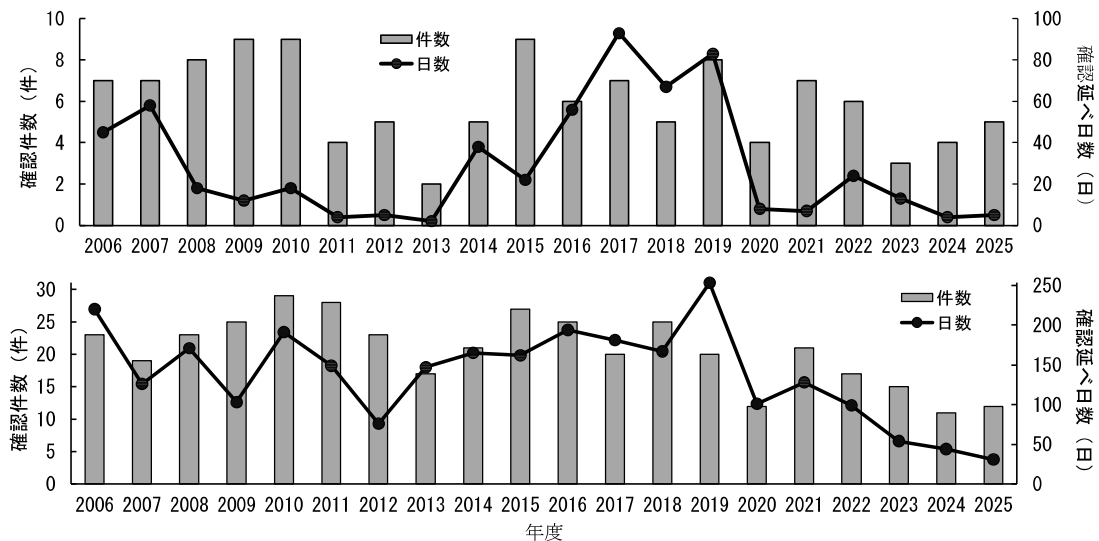
2025年度の赤潮確認件数は伊勢湾で5件、三河湾で12件の合計17件、確認延日数は伊勢湾で5日、三河湾で31日の合計36日でした。赤潮確認件数、確認延日数は、伊勢湾、三河湾ともに長期的な増加傾向は確認されていません（A図）。

●貧酸素水塊の面積は概ね横ばいで推移

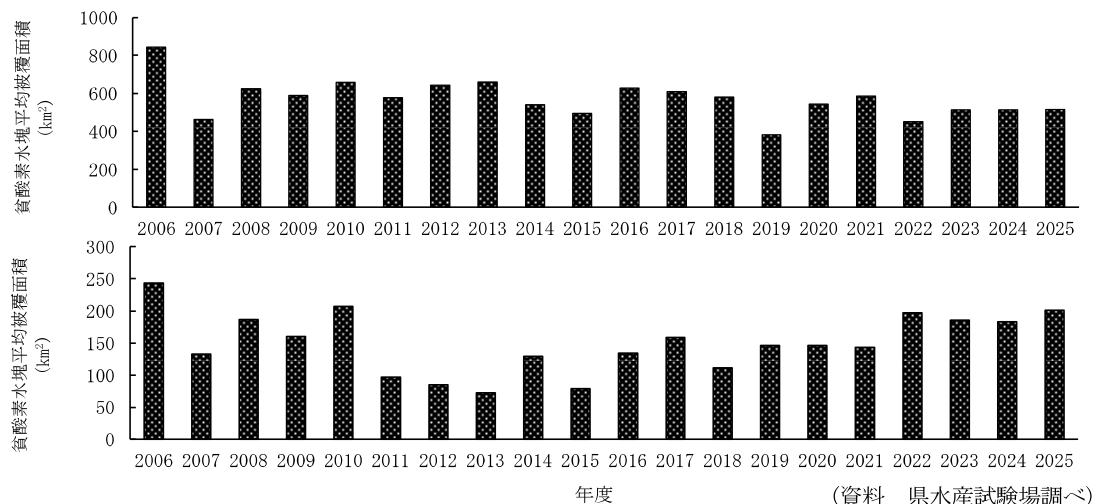
夏季には表層と底層の海水の混合が弱くなり、底層で有機物の分解により酸素が消費されるため、溶存酸素が減少した貧酸素水塊（溶存酸素飽和度30%以下）が形成されます。

貧酸素水塊に覆われた海底の面積（＝貧酸素水塊被覆面積）の2025年7～9月の平均は、伊勢湾が514 km²、三河湾が201 km²でした（B図）。貧酸素水塊平均被覆面積は年度により変動がありますが、近年は概ね横ばいで減少傾向は見られず、特に三河湾では高止まりとなっています。

A図 赤潮確認件数及び確認延日数の推移 上：伊勢湾、下：三河湾



B図 貧酸素水塊平均被覆面積（7-9月）の推移 上：伊勢湾、下：三河湾



（資料 県水産試験場調べ）

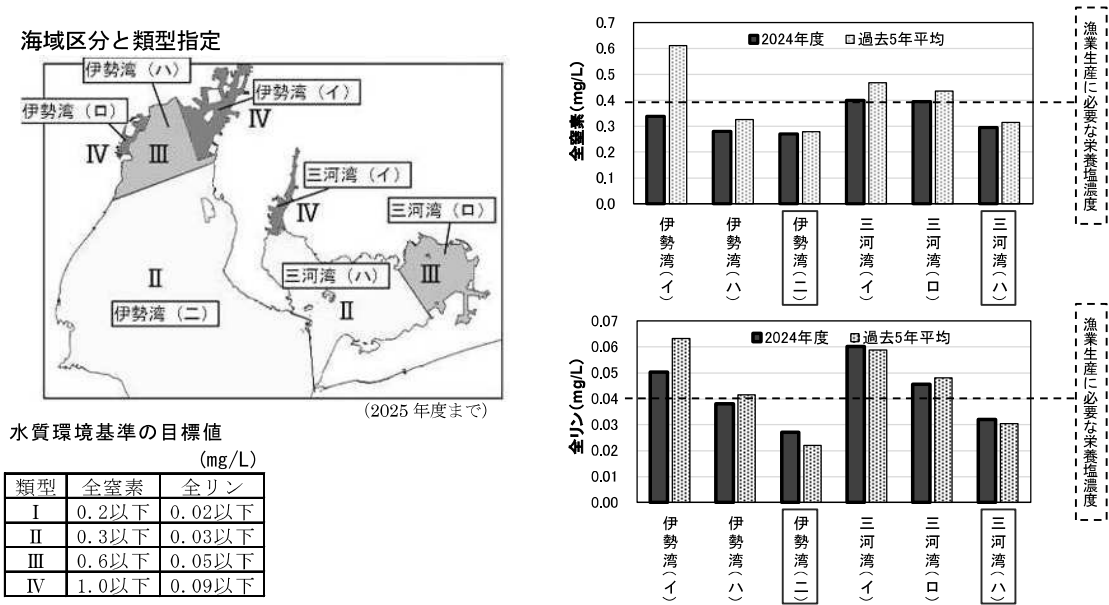
●伊勢湾・三河湾における窒素とリンの濃度

伊勢湾・三河湾では、窒素とリンの不足による生物生産への影響が指摘されています。

2024年度の調査結果では、海域の窒素（全窒素）の濃度は全ての海域で、リン（全リン）の濃度は半数の海域で過去5年平均を下回っており、栄養塩濃度の低下が続いていることが伺えます。

愛知県栄養塩管理検討会議は「漁業生産に必要な栄養塩濃度」として、全窒素0.4mg/L以上、全リン0.04mg/L以上を確保すべきとしています。主要な漁場海域である伊勢湾（ニ）と三河湾（ハ）は、いずれもこの目標濃度を大きく下回っています。これら2海域においては、地域ニーズを踏まえた類型指定の見直し（Ⅱ→Ⅲ類型）が進められており、その結果を踏まえ、栄養塩の増加に向けた取組を進める必要があります。

C図 海域毎の全窒素・全リン濃度平均値の2024年度と過去5年平均の比較



D表 海域における全窒素・全リンの年平均値の経年変化

(単位: mg/L)

水 域 名	類型	地点名	全 窒 素						全 麟					
			2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
伊勢湾(イ)	IV	N-2	1.20	0.91	0.80	0.93	0.86	0.72	0.130	0.089	0.072	0.081	0.081	0.070
		N-3	0.53	0.61	0.44	0.49	0.51	0.41	0.061	0.065	0.046	0.053	0.054	0.045
		N-4	0.43	0.41	0.34	0.34	0.38	0.32	0.046	0.052	0.040	0.039	0.040	0.036
伊勢湾(ハ)	III	N-6	0.37	0.35	0.26	0.31	0.34	0.28	0.043	0.052	0.036	0.038	0.039	0.038
伊勢湾(ニ)	II	N-5	0.40	0.35	0.32	0.28	0.28	0.33	0.033	0.030	0.027	0.030	0.031	0.037
		N-7	0.39	0.33	0.29	0.27	0.27	0.33	0.025	0.023	0.024	0.027	0.029	0.036
		N-8	0.38	0.25	0.25	0.22	0.21	0.25	0.020	0.018	0.020	0.019	0.021	0.024
		N-9	0.32	0.27	0.25	0.20	0.22	0.24	0.016	0.017	0.019	0.018	0.017	0.020
		N-13	0.27	0.31	0.23	0.20	0.19	0.20	0.014	0.019	0.018	0.019	0.017	0.018
三河湾(イ)	IV	K-3	0.57	0.47	0.51	0.40	0.39	0.40	0.064	0.053	0.060	0.061	0.056	0.060
三河湾(ロ)	III	A-1	0.42	0.38	0.73	0.37	0.33	0.36	0.042	0.037	0.074	0.044	0.042	0.042
		A-4	0.68	0.51	0.56	0.49	0.49	0.45	0.075	0.057	0.066	0.070	0.065	0.059
		A-5	0.43	0.34	0.41	0.32	0.31	0.39	0.037	0.033	0.040	0.036	0.038	0.039
		A-6	0.46	0.38	0.41	0.33	0.36	0.38	0.044	0.040	0.040	0.040	0.040	0.042
三河湾(ハ)	II	K-4	0.40	0.33	0.38	0.50	0.31	0.35	0.036	0.032	0.034	0.073	0.039	0.041
		K-5	0.32	0.28	0.32	0.26	0.27	0.29	0.030	0.026	0.031	0.030	0.032	0.034
		K-6	0.35	0.32	0.31	0.26	0.26	0.30	0.027	0.023	0.029	0.030	0.029	0.033
		K-8	0.35	0.30	0.33	0.25	0.27	0.29	0.027	0.026	0.030	0.030	0.029	0.033
		A-7	0.36	0.37	0.35	0.27	0.31	0.31	0.029	0.029	0.036	0.031	0.038	0.030
		A-8	0.39	0.27	0.29	0.24	0.24	0.25	0.024	0.023	0.029	0.024	0.024	0.026
		A-9	0.33	0.41	0.36	0.25	0.26	0.27	0.028	0.034	0.033	0.030	0.029	0.030
		A-14	0.42	0.30	0.32	0.25	0.24	0.30	0.027	0.024	0.027	0.025	0.025	0.029

(資料 令和 6(2024)年度 公共用水域及び地下水の水質調査結果：県環境局)

栽培漁業の動向

●栽培漁業の推進

県では、水産資源の維持増大を図るため、1978年10月に開設した愛知県栽培漁業センターにおいて放流用の種苗を生産・供給し、漁業者による栽培漁業の取組を推進しています（A表）。

栽培漁業の推進にあたっては、沿岸漁業整備開発法に基づき栽培漁業基本計画を策定し、資源状況に即した見直しを随時行っています。

生産魚種は1979年度のくるまえば、あわび、あゆに始まり、1985年度にくろだいとがざみ、1993年度になまこ、更に2005年度にとらふぐとよしえびを加えてきました。2020年度からは資源造成が図られたくろだいの生産を休止し、以降、7魚種の種苗を生産・供給してきました。2026年1月に、はまぐり、みるくい、わかめ種系の新規生産を行う新たな生産棟が竣工し、2026年度からは10魚種の種苗を生産・供給していきます。

A表 栽培漁業センター産種苗の供給実績

魚 種		年 度 供給先	2021	2022	2023	2024	2025
くるまえば（千尾） （全長 1.5～2.0cm）		常滑市	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
		南知多町	—	1,000	1,000	1,000	1,000
		西尾市（旧一色町）	4,500	5,450	2,148	4,500	4,500
		西尾市（旧幡豆町）	—	1,000	1,669	1,000	1,000
		西尾市（三河湾）	3,300	2,350	4,983	3,300	3,300
		田原市（旧渥美町）	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
	計		20,000	22,000	22,000	22,000	22,000
が ざ み（千尾） （甲幅 0.5～0.8cm）		常滑市	170	170	170	170	170
		南知多町	330	360	360	360	360
		西尾市（旧幡豆町）	500	700	700	700	700
		蒲郡市	100	100	100	100	100
		田原市（旧渥美町）	500	500	500	500	500
	計		1,600	1,830	1,830	1,830	1,830
よ し え び（千尾） （全長 1.1～1.7cm）		常滑市	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		南知多町	2,000	2,500	2,500	2,500	2,500
		碧南市	—	1,600	1,600	1,600	1,600
		西尾市（旧一色町）	1,000	—	—	—	—
	計		4,500	5,600	5,600	5,600	5,600
と ら ふ ぐ（千尾） （全長 3.5～4.5cm）		南知多町	130	130	130	130	130
		西尾市（旧一色町）	50	50	50	50	50
	計		180	180	180	180	180
あ わ び（千個） （殻長 1.0～2.0cm）		師崎漁協	30	30	30	30	30
		篠島 〃	30	30	30	30	30
		日間賀島 〃	30	30	30	30	30
		豊浜 〃	30	30	30	30	30
		愛知外海漁協他	20.5	20.5	18	18	18
	計		140.5	140.5	138	138	138
な ま こ（千尾） （全長 0.5～1.0cm）		南知多町	443	380	380	380	380
		西尾市（旧一色町）	44	35	35	35	35
		西尾市（旧吉良町）	25	25	25	25	25
		西尾市（旧幡豆町）	50	50	50	50	50
		蒲郡市	16	10	10	10	10
		田原市（旧渥美町）	222	200	200	200	200
	計		800	700	700	700	700
あ ゆ（千尾） 上段（全長 4.0～5.0cm） 下段（全長 4.0～6.0cm）		愛知県鮎養殖漁業生産組合	1,300	—	—	—	—
			—	1,200	1,200	800	700
	計		1,300	1,200	1,200	800	700

資源管理の動向

●資源管理型漁業の推進

水産資源を増やす取組に加えて、獲りすぎないように漁獲をコントロールする資源管理型漁業の推進も重要です。漁業者は、休漁期間や定期休漁日の設定、網目の制限など様々な自主的な取組を定めた「資源管理協定」を作成し、資源管理に取り組んでいます（A表）。

A表 資源管理協定の一覧表

(2026年3月末現在)

No.	資源管理協定名	参加者数
1	愛知県三河湾における底魚資源に関する日間賀島漁協小型機船底びき網（まめ板網）漁業の資源管理協定	5
2	愛知県渥美外海域における底魚資源に関する豊浜漁協小型機船底びき網（板びき網）漁業の資源管理協定	6
3	愛知県渥美外海域における底魚資源に関する日間賀島漁協小型機船底びき網（板びき網）漁業の資源管理協定	7
4	愛知県海域における底魚資源に関する豊浜漁協（あなご簀及びかに簀）漁業の資源管理協定	4
5	愛知県渥美外海及び三河湾海域における底魚資源に関する三河幡豆漁協小型機船底びき網（渥美外海板びき網、改良備前網、貝けた網及びえびけた網）漁業の資源管理協定	12
6	愛知県伊勢湾海域における底魚資源に関する小型機船底びき網（まめ板網）漁業の資源管理協定	93
7	愛知県三河湾（西三河地区地先海域）における貝類資源に関する採貝（腰まんが）漁業の資源管理協定	109
8	愛知県三河湾（西三河地区地先海域）における貝類資源に関する小型機船底びき網（貝けた網（水流噴射式けた網））漁業の資源管理協定	81
9	愛知県海域における底魚資源に関する片名漁協及び大井漁協（あなご簀及びかに簀）漁業の資源管理協定	6
10	愛知県海域における底魚資源に関する篠島漁協（あなご簀及びかに簀）漁業の資源管理協定	5
11	愛知県海域におけるトラフグに関する愛知ふぐ縄組合連合会の資源管理協定	43
12	愛知県海域における底魚資源に関する日間賀島漁協（あなご簀及びかに簀）漁業の資源管理協定	17
13	愛知県渥美外海域におけるシラスに関する愛知外海漁協しらす機船船びき網漁業の資源管理協定	6
14	愛知県海域における底魚資源に関する西三河漁協小型機船底びき網（渥美外海板びき網、改良備前網、貝けた網及びえびけた網）漁業及びさし網漁業の資源管理協定	30
15	愛知県三河湾における底魚資源に関する大濱漁協小型機船底びき網（貝けた網、えびけた網及びまめ板網）漁業の資源管理協定	6
16	愛知県海域におけるイワシ類に関する愛知県しらす・いかなご船びき網連合会の資源管理協定	83
17	愛知県渥美外海及び三河湾海域における底魚資源に関する蒲郡漁協及び三谷漁協小型機船底びき網（渥美外海板びき網、改良備前網、貝けた網及びえびけた網）漁業の資源管理協定	21
18	愛知県海域におけるイワシ類に関する愛知県ぱっち網漁業者組合の資源管理協定	21
19	愛知県三河湾（小中山地区地先海域）における貝類資源に関する採貝（腰まんが）漁業の資源管理協定	41

●漁獲可能量制度による数量管理の取組

漁獲可能量とは、法に基づき特定の魚種ごとに国が定める、年間に漁獲できる総量であり、通称TAC（Total Allowable Catch）と呼ばれています。漁獲可能量の管理対象には2026年4月1日現在で14魚種が指定され、このうち本県ではまいわしなど7魚種が管理対象となっています（B表）。

B表 本県に定められた漁獲可能量（2026年4月1日現在）

魚種名	くろまぐろ		まあじ	まいわし	まさば及びごまさば	するめいか	かたくちいわし	ぶり
	30kg未満	30kg以上						
管理期間	2026.4～2027.3		2026.1～12	2026.1～12	2025.7～2026.6	2026.4～2027.3	2026.1～12	2025.7～2026.6
本県への配分量	1.0t	2.0t	現行水準	現行水準	現行水準	現行水準	107,000tの内数	101,000tの内数

4 漁業生産

漁業総生産の動向

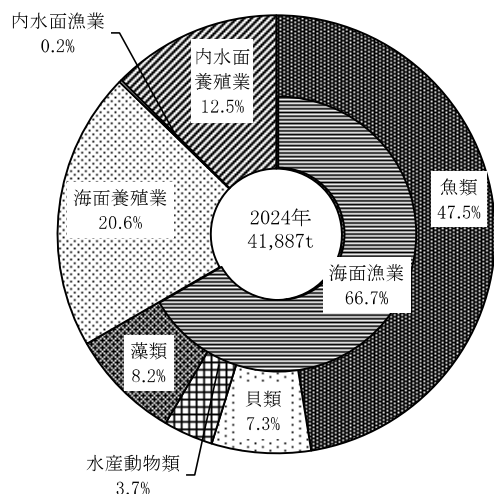
●漁業・養殖業の総生産量は20.7%減少

2024年の漁業・養殖業の総生産量は41,887 tで、海面漁業が66.7%を占めています（A図）。前年（52,819t）に比べ20.7%減少しており、海面漁業は27,927 tで27.6%減少、海面養殖業は8,637 tで8.0%減少となりました（B図）。海面漁業の減少は、しらす、まいわしの漁獲量の減少が大きな要因です。

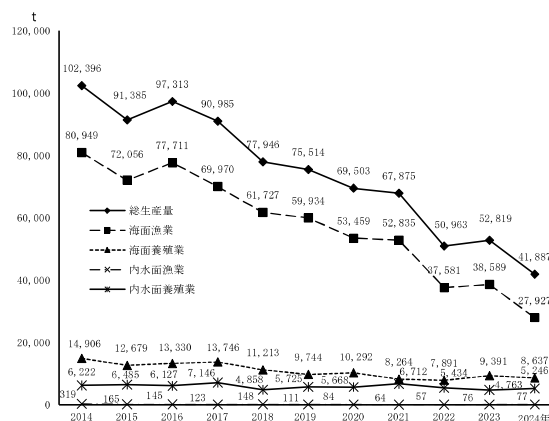
●漁業・養殖業の総産出額は2.5%減少

2024年の漁業・養殖業の総産出額は392.1億円で、前年（402.1億円）に比べ2.5%減少しており、単価が高いなぎが中心の内水面養殖業が56.8%を占めています（C、D図）。海面漁業は112.6億円で33.2%減少、海面養殖業は55.0億円で83.9%の増加となりました（D図）。海面養殖漁業の大幅な増加は、のりの単価が上昇傾向にあることが大きな要因です。

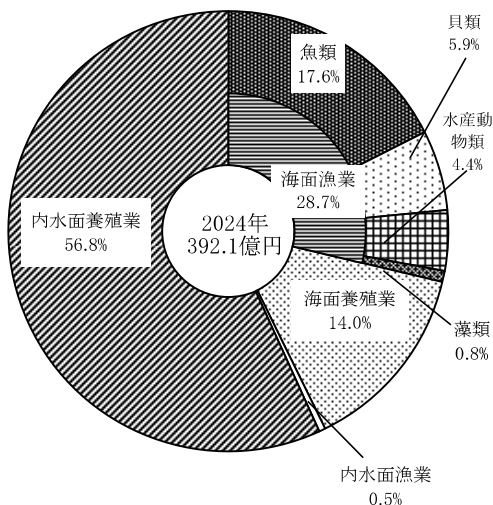
A図 漁業・養殖業の総生産量の内訳



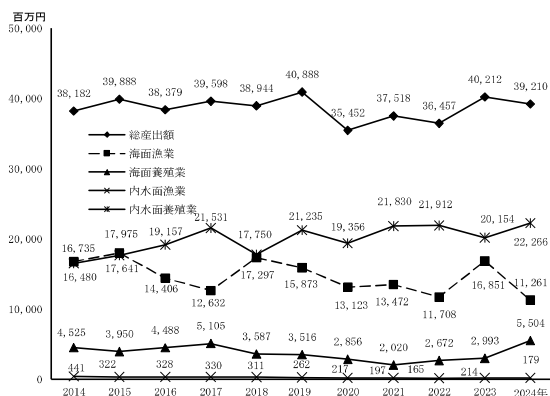
B図 漁業・養殖業の総生産量の推移



C図 漁業・養殖業の総産出額の内訳



D図 漁業・養殖業の総産出額の推移



内水面漁業および内水面養殖業の産出額は、県水産課が魚種別の生産量に全国単価を乗じて求めた推計値。内水面養殖業は産出額（D図）のみきんぎょを含む。きんぎょは県水産課調べ（資料 海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ（A～D図））

海面漁業生産の動向

●海面漁業漁獲量の魚種別ではかたくちいわしが多くを占める

2024年の本県海面漁業の漁獲量は27,927 tで、魚種別では、かたくちいわしが36.3%を占め、次いで、しらすが10.3%、貝類（あさり類以外）が7.2%、まいわしが5.0%となっており（A図）、漁業種類別では、いわし類を漁獲する船びき網漁業が57.4%を占めています（B図）。

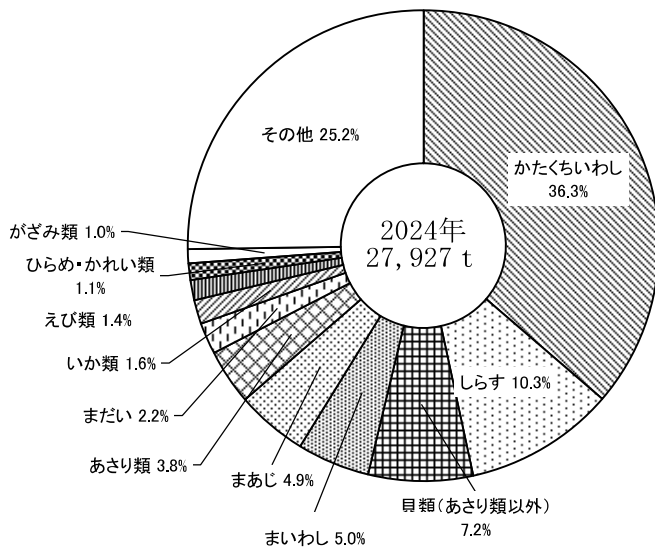
●海面漁業産出額の魚種別ではしらすが多くを占める

2024年の海面漁業の産出額は112.6億円で、魚種別ではしらすが26.0%、次いで貝類（あさり類以外）が11.8%、あさり類が8.8%を占めています（C図）。

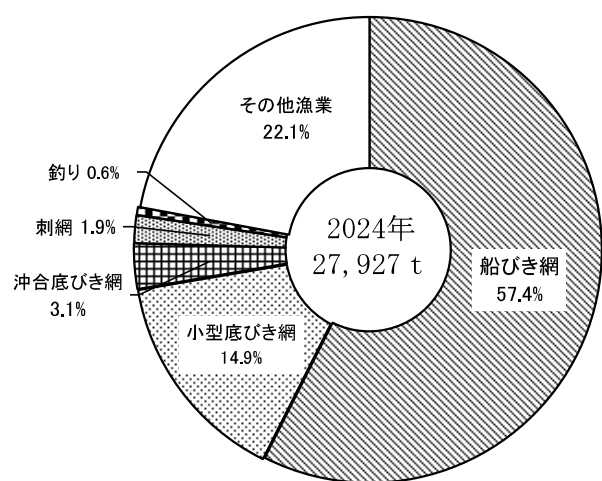
●漁業総生産は近年減少傾向

漁獲量が多い主要な魚種別では、前年に比べ、まいわしが67.8%減、しらすが38.9%減となり、厳しい状況が続いています（D図）。

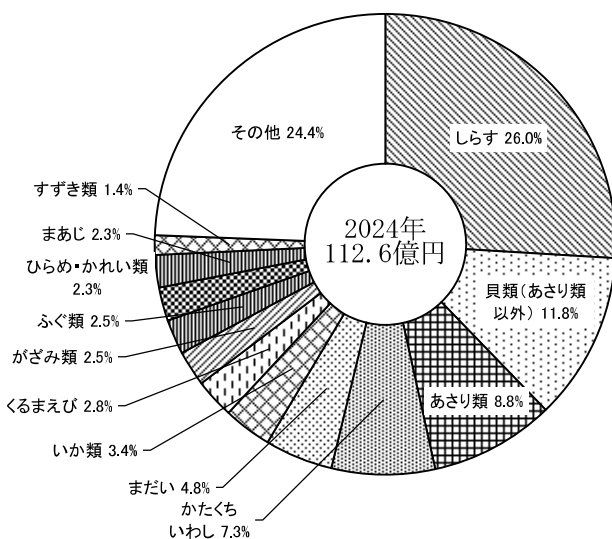
A図 海面漁業魚種別漁獲量の構成



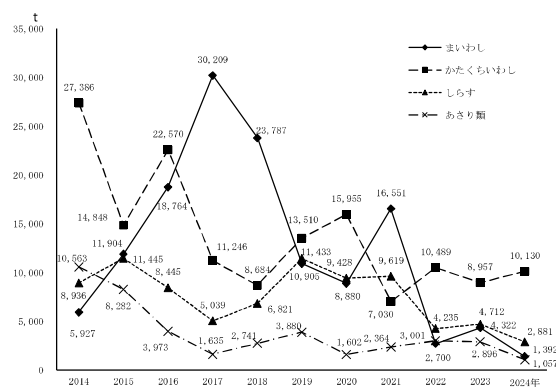
B図 海面漁業種類別漁獲量の構成



C図 海面漁業魚種別産出額の構成



D図 主要魚種別漁獲量の推移



（資料 海面漁業生産統計調査（A～D図））

海面養殖生産の動向

●海面養殖業収穫量は8.0%減少

2024年の本県海面養殖業の収穫量は8,637 tで、前年に比べ8.0%減少しました。本県海面養殖業のほとんどはのり類を含む海藻類養殖が占めております（A表）。

●板のり生産枚数は1.3%増加（養殖年）

養殖年（2024年11月～2025年5月）における板のりの生産枚数は2億3,820万枚となり、前年に比べ1.3%増加しました。地区別では、知多地区が1億8,921万枚で前年に比べ0.5%の減少、西三河地区が2,916万枚で前年に比べ5.7%の増加、東三河地区が1,983万枚で前年に比べ14.8%の増加となっています（A図）。養殖年（2024年11月～2025年5月）における板のりの生産金額は60億5,408万円となり、前年に比べ14.2%増加しました。地区別では、知多地区が46億5,085万円で前年に比べ11.7%の増加、西三河地区が8億772万円の前年に比べ20.2%の増加、東三河地区が5億9,550万円の前年に比べ27.8%の増加となっており（B図）、単価は上昇傾向となっています。

A表 海面養殖業収穫量の推移（暦年、1月～12月）

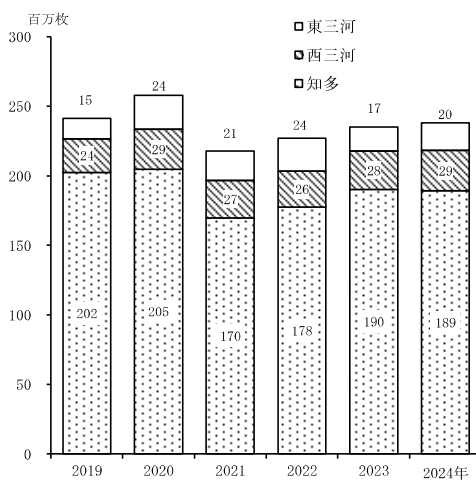
（単位：t）

種別 \ 年		2019	2020	2021	2022	2023年	2024年
魚 類		x	x	114	160	x	x
貝 類		x	x	22	14	14	11
海藻類	の り 類	9,403 (244,550)	9,913 (256,676)	x (202,422)	7,558 (190,002)	8,876 (224,200)	8,166 (205,338)
	わ か め 類	245	276	x	159	317	287
	計	9,648	10,189	x	7,717	9,194	8,453
合計		9,744	10,292	8,264	7,891	9,391	8,637

注）のり類下段の（ ）は板のり生産枚数（単位：千枚）

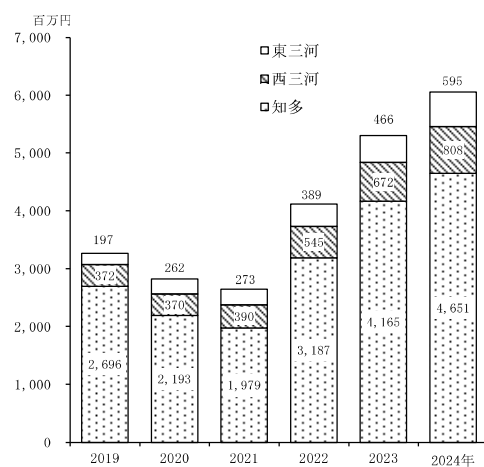
（資料 海面漁業生産統計調査）

A図 板のり生産枚数の推移
（養殖年：11月～翌年5月）



（資料 県水産課調べ）

B図 板のり生産金額の推移
（養殖年：11月～翌年5月）



（資料 県水産課調べ）

内水面漁業・養殖業の動向

●内水面漁業漁獲量は77 t

2024年の本県内水面漁業の漁獲量は77 t で、前年に比べ1.3%の増加となりました。あゆの漁獲量は32 t で、前年に比べ18.8%減少しました。（A図）。

●うなぎ養殖の収穫量は4,255 t

本県のうなぎ養殖は、西尾市を中心とする西三河地区や豊橋市を中心とする東三河地区で盛んに行われており、鹿児島県に次いで全国第2位の収穫量となっています。2024年の収穫量は4,255tで前年に比べ11.7%の増加となりました。

2024年は、しらすうなぎ採捕量が前年より減少しましたが、収穫量は前年より増加しました。また、成鰻単価は前年より低下しました（B図）。

●あゆ養殖の収穫量は844 t

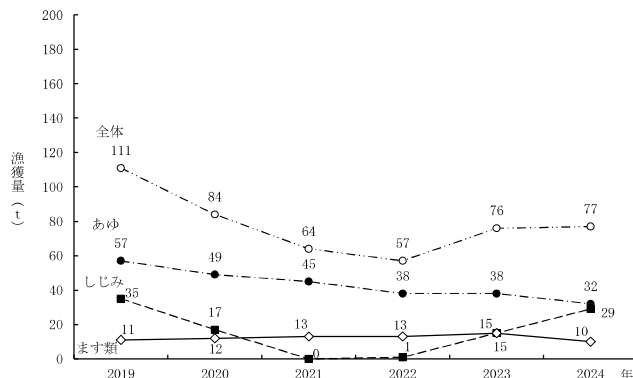
本県のあゆ養殖は、豊川市を中心とする東三河地区で行われており、岐阜県に次いで全国第2位の収穫量となっています。

2024年の収穫量は844t で前年に比べ1.3%増加し、産出額は18.5億円 で前年に比べ11.5%増加しました（C図）。

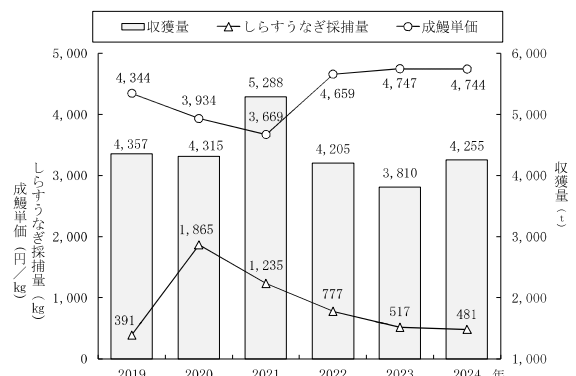
●きんぎょ養殖の生産量は3,621 千尾

本県のきんぎょ養殖は、弥富市を中心とする海部地区で行われており、奈良県に次いで全国第2位の生産（販売）量となっています。2024年の生産量は3,621千尾で前年に比べ4.1%減少し、産出額は約2.8億円 で前年並みとなっています（D図）。

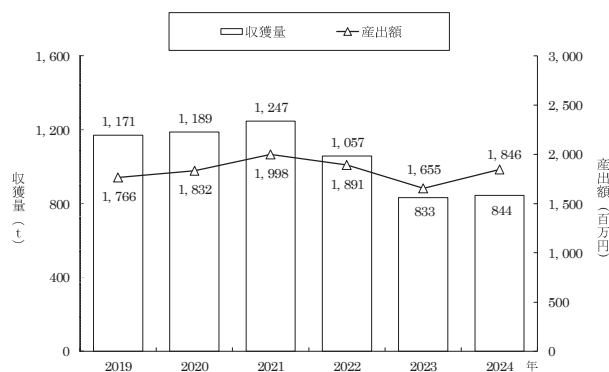
A図 内水面漁業魚種別漁獲量の推移



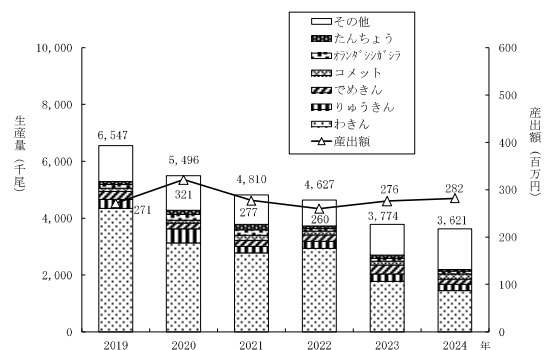
B図 成鰻収穫量、しらすうなぎ採捕量及び成鰻単価の推移



C図 あゆ収穫量及び産出額の推移



D図 きんぎょ種類別生産量及び産出額の推移



（資料 内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ）

5 流通加工

水産物流通の動向

●産地市場、消費地市場の流通量約13.2万 t

本県の水産物を扱う主な市場は、2025年4月現在で産地市場が12、消費地市場が8（2中央卸売市場含む）の計20市場があり、20市場において2024年に取引した水産物は、13.2万 t、1,415億円で、前年（14.3万 t、1,468億円）と比べて数量で1.2万 tの減少、取引額で53.4億円の減少となっています。

また、産地市場の取扱量は2.6万 tで、このうち県外へ移出された水産物は、0.2万 t（6.4%）でした。中央卸売市場を除く消費地市場の取扱量は1.7万 tで、このうち県外から移入された水産物は0.9万 t（54.1%）でした（A図）。

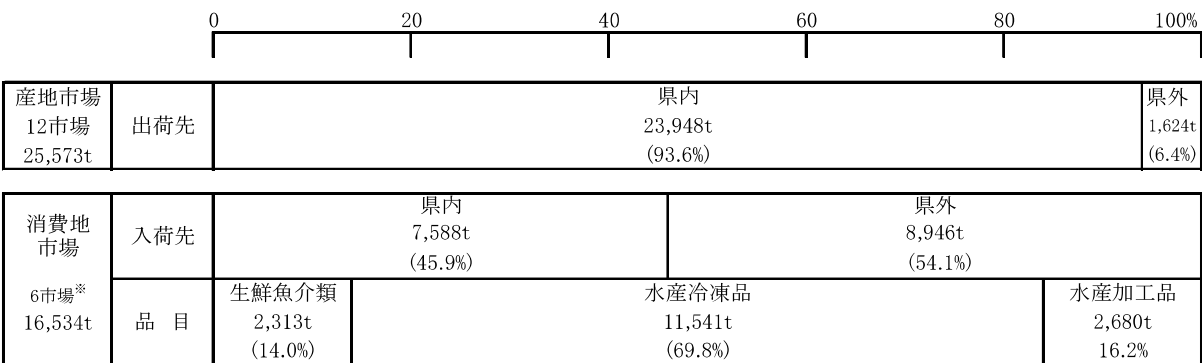
●産地価格の総平均は7.8%低下

2024年の産地における水産物1kg当たりの総平均価格（水揚げ金額／水揚げ数量）は403円で前年に比べ34円（7.8%）低下しました。種類別では、魚類は346円で前年より31円（8.2%）、水産動物類は1,131円で57円（4.8%）、貝類は754円で51円（6.3%）低下しました（B図）。

●消費地価格の総平均は3.6%増加

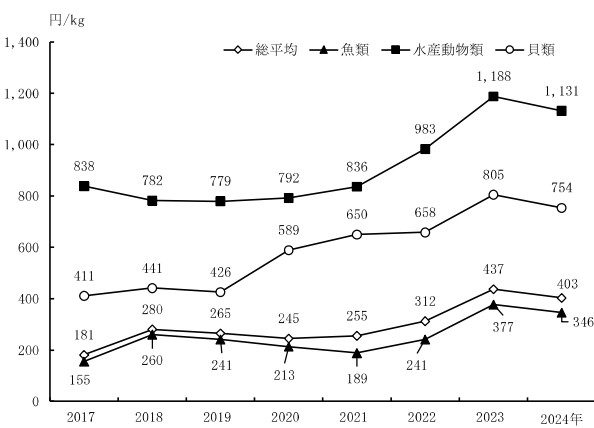
2024年の消費地市場（名古屋市中央卸売市場）における水産物の1 kg当たりの総平均価格（取扱金額／取扱数量）は1,262円で前年に比べ43円（3.6%）上昇しました。種類別では、生鮮水産物は1,260円で前年より3円（0.3%）低下し、冷凍水産物は1,669円で62円（3.9%）、加工水産物は1,189円で80円（7.2%）上昇しました（C図）。

A図 2024年の市場流通状況



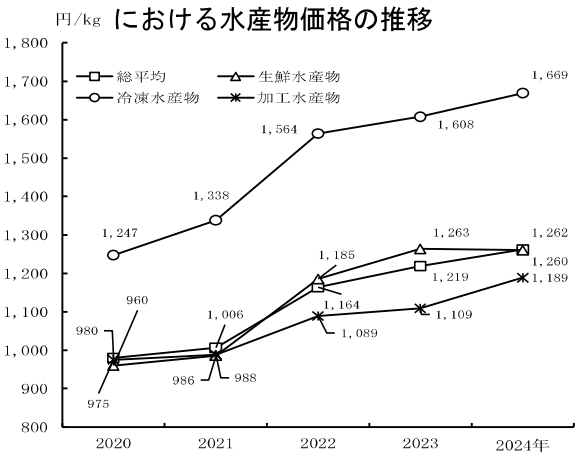
(資料 名古屋市中央卸売市場年報、県調べ)

B図 産地における水産物価格の推移



(資料 海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）)

C図 消費地市場（名古屋市中央卸売市場）



(資料 名古屋市中央卸売市場年報)

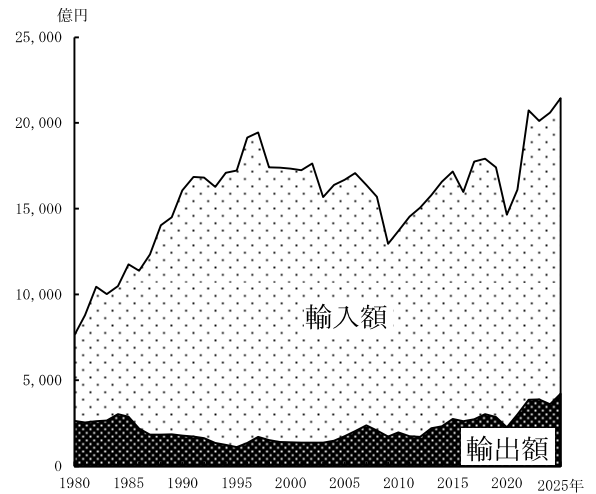
水産物輸出入の動向

●水産物の輸出入

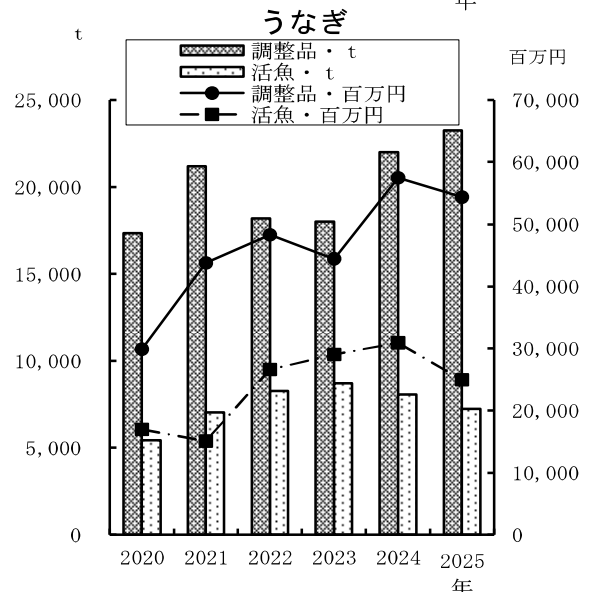
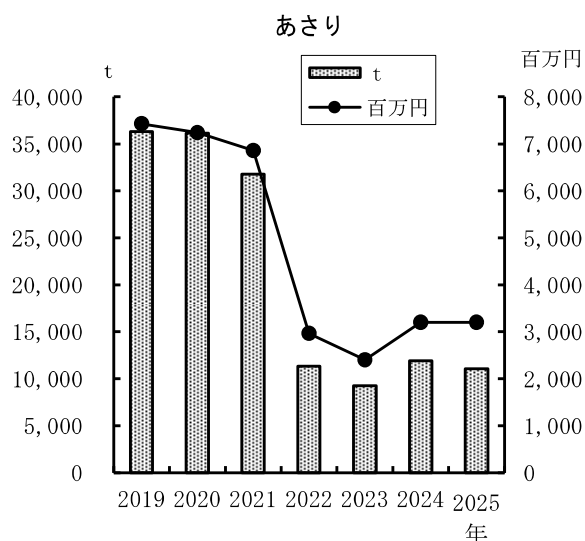
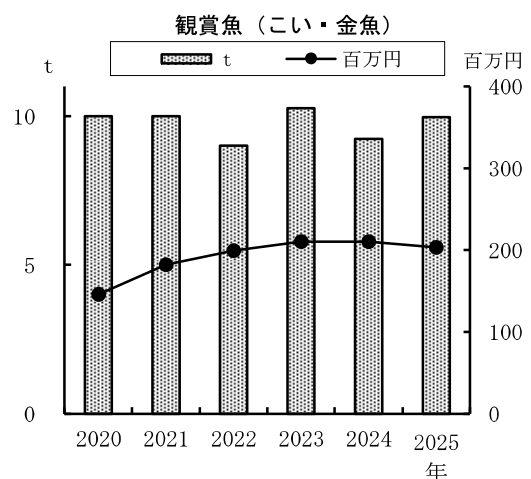
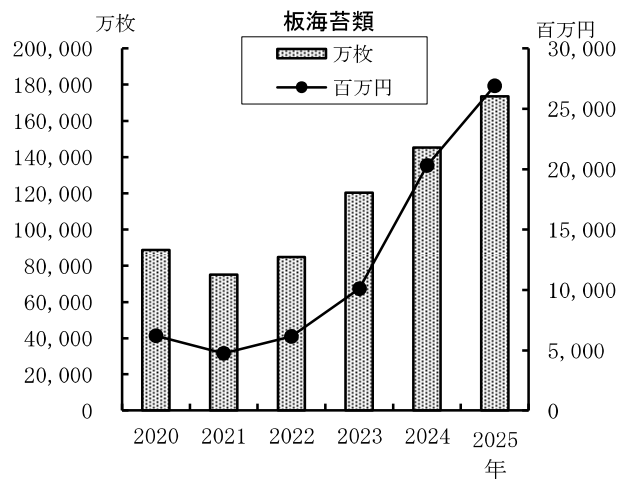
財務省の貿易統計によると、2025年の水産物の総輸入額は2兆1454億円（対前年3.8%増）、総輸出額は4,231億円（対前年17.2%増）で、輸入額は、近年増加傾向にあります。輸出額については、横ばい傾向でしたが、2021年以降は3,000億円台で推移し、2025年には4,000億円台となりました（A図）。

県水産業の主要品目について、近年の輸入量（全国）の推移を見ると、板海苔類は増加傾向、観賞魚、うなぎは横ばいでした。一方あさりは、2022年以降、大きく減少しています（B図）。

A図 水産物の輸出入金額の推移



B図 品目別の輸入量・輸入金額の推移



(資料 貿易統計 (A、B図))

6 技術の開発・普及

●水産試験場の研究成果

(1) 豊かな海へ向けた取組が干潟の生態系やその機能へ与える影響

○背景

アサリ資源の減少は県内の沿岸漁業への影響だけでなく、干潟生態系が担う物質循環機能の低下にもつながります。これまでの研究で、長期的な栄養塩類の減少に伴い、アサリの餌となる植物プランクトンが減少し、十分なエネルギーを蓄積できずに秋冬期に産卵や波浪により減耗することが明らかとなっています。このことから三河湾では栄養塩増加運転の取組が一部で行われています。水産試験場では小型の干潟実験水槽を用いた飼育実験を行い、干潟の生物の餌となる植物プランクトン量の違いによる、干潟生態系への効果について調べました。

○餌料供給量の違いによる生物の応答

アサリを含むマクロベントス（二枚貝やゴカイ等）を2つの水槽で同量となるように投入し、培養した植物プランクトンを試験区（A区）が対照区（B区）の4倍となるように給餌しました。なお、A区の給餌量は過去に三河湾でアサリの漁獲が多かった年代の水質を参考としました。試験は春夏期、秋冬期にそれぞれ約2か月間行いましたが、2回ともA区ではアサリ等のマクロベントスが増大しました。ここでは秋冬期の試験結果について紹介します。

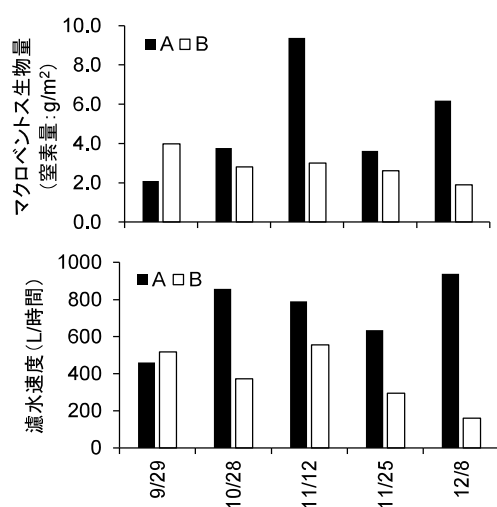
A区では試験経過に伴いマクロベントスの生物量が増加する傾向が見られ、試験終了時点ではB区と比べて3倍以上高くなりました（A図）。また、両水槽内の植物プランクトン等の懸濁態有機物の時間変化から浄化機能の指標となる水槽内の生物による濾水速度を計算すると、A区では濾水速度が増加する傾向が見られ、試験終了時点では対照区よりも約6倍高くなりました。

また、マクロベントスの主体であったアサリの肥満度及び成熟状況（群成熟度）は、A区では試験開始1ヶ月後に増加が見られ、その後も高い水準を維持していましたが、B区では低位で推移しました（B図）。

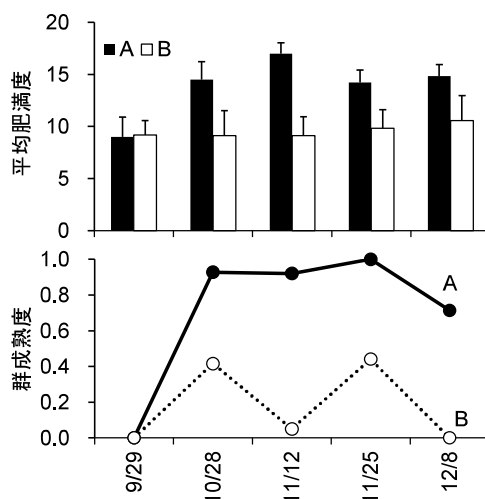
以上のことから、餌料の増加に伴ってアサリの肥満度が上昇し、マクロベントスの生物量が増加すること、これにより生物作用による濾水速度が上昇し、水質浄化機能が向上することが確認されました。さらに、アサリの成熟には十分な餌料環境が必要であることも示されました。

伊勢湾・三河湾の水質類型指定の見直しなど（本誌、p.22-23 参照）、水質管理の制度は大きな転換点を迎えています。本研究の結果は、豊かな海へ向けた栄養塩管理の取組が干潟域での生物生産力の増大を通じて、漁業や潮干狩りだけでなく水質浄化機能などの生態系サービスの向上にも寄与することを示しています。

A図 マクロベントス生物量及び濾水速度の推移



B図 アサリの肥満度及び群成熟度の推移

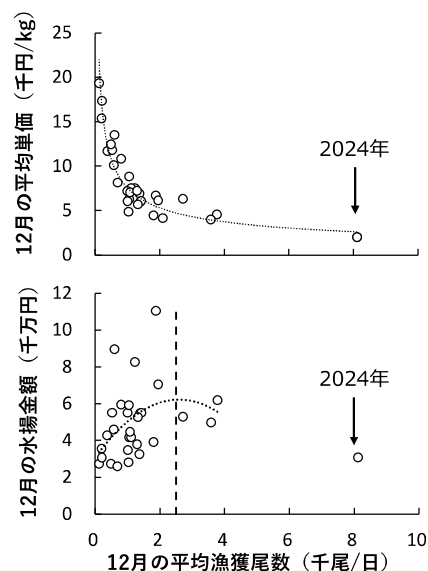


(2) はえ縄漁業によるトラフグ資源管理の取組

○豊漁だった 2024 年漁期にみられた課題

愛知県は全国有数の天然トラフグの産地です。近年は資源状況も良く、2024 年漁期は、はえ縄漁業による漁獲量が 56 トン（過去 5 年平均 25 トン）となり、豊漁の年となりました。しかし、水揚金額に目を向けると 1.0 億円（過去 5 年平均 1.1 億円）に留まり、漁獲量の増加ほどには金額が伸びませんでした。これを資源 1 尾から得られた金額で考えると、せっかくの資源を安く手放してしまっていることとなります。そこで、資源を効率的に利用するため、資源状況が良い場合での最適な水揚方法について検討を行いました。

A 図 1 日あたりの水揚尾数と平均単価及び水揚金額の関係（12 月）



○価格低下の要因と対策

最も需要が高くなる 12 月における 1 日あたりの水揚尾数と単価の関係をみたところ、1 日の水揚尾数が増えるほど単価が下がる関係にあることがわかりました（A 図上）。そこで、1 日あたりにどれだけ水揚げすれば水揚金額が最大になるのか検討したところ、1 日あたり約 2,500 尾が最適であると推定されました（A 図下）。加えて、仲買業者への聞き取りから、出漁回数が少ないことで、必要な時にトラフグが手に入らなかったといった課題も指摘されました。

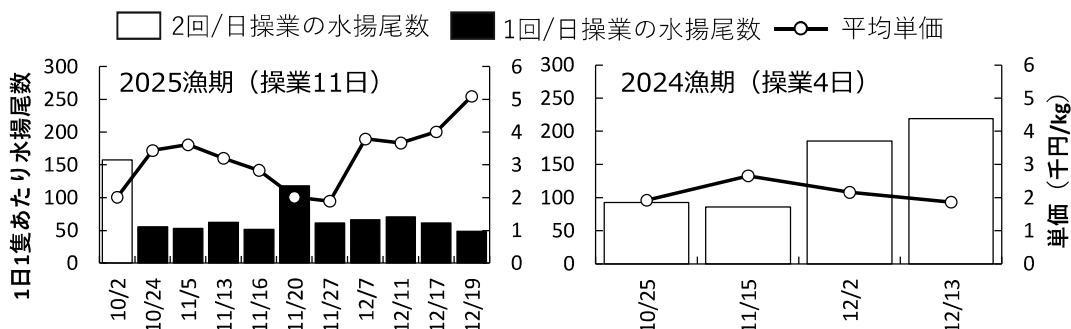
これらの情報を踏まえ、2,500 尾を操業隻数で割り、1 日 1 隻あたり約 60 尾を目安に水揚尾数を抑えること、そして市場への安定供給につながるように、できるだけコンスタントに出漁することを漁期前に漁業者へ提案しました。

○2025 年漁期の取組と結果

2025 年漁期には、1 日の水揚尾数を抑えるため、通常は 1 日 2 回行う操業を 1 回にする努力量制限を実施しました。漁期初日のみ通常どおり 2 回操業でしたが、その後は努力量制限の効果により、1 日 1 隻あたりの水揚尾数は約 60 尾に抑えられました（B 図）。これにより、2024 年漁期と比べて、水揚尾数は減ったものの、単価と出漁日数は大きく増加しました（B 図）。また、12 月末までの累積水揚尾数は昨年の約 1.1 倍でしたが、累積金額では約 2.5 倍に増加しました。つまり、資源 1 尾あたりから得られた金額を増加することができたこととなります。

さらに、1 日あたりの水揚尾数が安定し、漁期後半になっても尾数が減少しなかったことから、資源を上手に取り残しつつ、操業できたと考えられます。資源状況が良い年には、努力量制限による資源管理が、資源利用において合理的な取組であることが、実際の操業を通じて示されたといえます。

B 図 出漁日ごとの 1 日 1 隻あたり水揚尾数と単価の経過（12 月末まで）



7 時の話題

食と緑の基本計画 2030 について

1 「食と緑の基本計画 2030」の趣旨

「食と緑の基本計画」は、2004 年 4 月に施行した「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」に基づき、本県の農林水産業の持続的発展と県民の豊かな暮らしの実現に向けた施策の基本的な方向性を示す計画です。本計画は 5 年毎に策定されており、2025 年 12 月に新たに「食と緑の基本計画 2030」（計画期間：2026～2030 年度）を策定しました。

2 「食と緑の基本計画 2030」の特徴

(1) 2030 年を目標年として“めざす姿”を 3 つ設定しました。

「イノベーションを生み成長する農林水産業」「県民の理解と参加で支える農林水産業」
「環境に対応した持続可能な農林水産業」

(2) “めざす姿”を実現するため、3 つの目標を設定しました。

項 目	目標値	計画策定時
農業産出額	3,700 億円	3,551 億円 (2024 年)
木材生産量	21.0 万 m ³	18.7 万 m ³ (2024 年)
漁業産出額	410 億円	402 億円 (2023 年)

(3) 5 つの施策体系により“めざす姿”の実現に向けた取組を推進します。

施策体系 1 農林水産業の未来を担う人材の確保・育成

- 新たな担い手の確保
- 強い農林水産業を担う人材の育成
- 多様な人材による労働力の確保

施策体系 2 生産力の高い農林水産業の実現

- 新技術・新品種の開発・普及
- 生産基盤の強化
- 生産・流通体制の強化

施策体系 3 農林水産物の需要拡大と農山漁村の魅力発信

- 国内外の需要開拓
- 食と緑の理解醸成
- 農山漁村の活性化

施策体系 4 安全で良好な暮らしを支える農山漁村地域づくり

- 防災・減災対策の推進
- 持続可能なインフラマネジメントの推進
- 地域の快適な環境の確保

施策体系 5 環境と調和のとれた持続的な農林水産業の実現

- 環境負荷低減の推進
- 環境変化への対応
- 持続可能な生産環境の創出施策体系



食と緑の基本計画
WEB ページ

愛知県農林水産業の試験研究基本計画 2030（水産部門）について

愛知県では、食と緑の基本計画 2030 の目標達成に向け、農林水産分野の試験研究の方向性体系、取組事項等を示す「愛知県農林水産業の試験研究基本計画 2030」を令和 7 年 12 月に策定しました。

水産試験場では下記に示した三つの柱と重点研究テーマを掲げ、研究を効率的に進め、得られた成果は迅速に普及を進めていきます。

<試験研究体系>

柱 1：漁業生産を支える健全な漁場環境の実現（取組事項：5 項）
貧栄養化や貧酸素水塊、有害・有毒プランクトンについて観測・調査を行い、これらによる漁業被害の対策技術を開発する。
柱 2：気候変動に対応した漁業生産技術の向上（取組事項：8 項）
水産資源の解析技術や効率的な操業技術、ノリやアサリ等の増養殖技術、藻場回復技術を開発する。
柱 3：効率性の高い内水面増養殖技術の推進（取組事項：5 項）
河川の生産力に応じた漁場利用技術及び経済性の高い放流技術を開発・実用化、効率的な養殖技術を開発する。

<重点研究テーマ>：貧栄養化をはじめとした漁場環境の変化に対応する技術の開発

〔背景〕

近年の貧栄養化や高水温化に伴う、水産資源の減少やノリの色落ち、また、養鰻業の持続性への懸念、河川資源の有効活用といった課題が顕在化しており、これらに対応する技術開発が急務となっている。

〔取組内容〕

漁場の貧栄養化や貧酸素水塊の拡大、高水温をはじめとした漁場環境の変化に対応するため、アサリ等二枚貝類、ノリ、ウナギ等の増養殖技術や、漁況予測、経営分析等を用いた効率的な漁業技術を開発する。（右図参照）



試験研究基本計画
WEB ページ



伊勢湾・三河湾の水質類型指定の見直し

1 背景と経過

(1) 漁業生産に必要な望ましい栄養塩管理のあり方

伊勢湾・三河湾では、海の生物の生育に必要な栄養塩が不足する「貧栄養化」が進んでおり、本県では、2022～2024年度にかけて、環境、下水道、水産の関係機関が一堂に会した「愛知県栄養塩管理検討会議」を設置し、この問題への対応を検討してきました。

その成果として、2025年2月に報告書「漁業生産に必要な望ましい栄養塩管理のあり方について」を取りまとめ、漁場の栄養塩濃度を必要な水準に高めるための方策を示しました。

(2) 漁業生産に必要な栄養塩濃度

この報告書においては、様々な研究成果を検討した結果として、アサリやノリを始めとする漁業生産に必要な栄養塩濃度を以下のとおり示し、その水準を目指していくこととしました。

全窒素	全リン
0.4 mg/L 以上	0.04 mg/L 以上

(3) 環境基準の類型指定と漁場

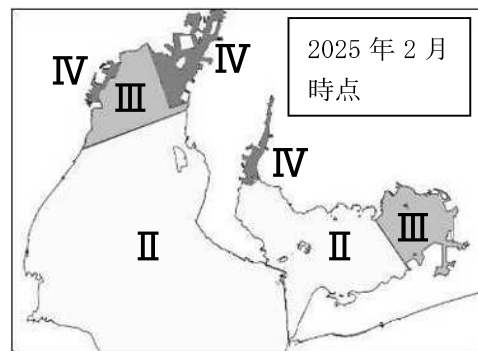
環境基準は、環境基本法に基づいて国が定める維持されることが望ましい基準であり、海域では、目標とする水質レベルごとに区域を区分して水質基準を当てはめる「水域類型」が指定されています。

伊勢湾・三河湾の全窒素及び全リンに係る環境基準では、漁場として利用されている海域の多くが、これまでⅡ類型に指定されてきました。同報告書では、Ⅱ類型の基準値は(2)で述べた「漁業生産に必要な栄養塩濃度」と比較すると低い基準であり、今後、海域の栄養塩を必要なレベルに引き上げるためには、この類型指定の見直しが必要であるとされました。

〈伊勢湾・三河湾の水質類型指定〉

類型	水質環境基準(mg/L)		利用目的 (水産に係るもの)
	全窒素	全リン	
I	0.2 以下	0.02 以下	自然環境保全
Ⅱ	0.3 以下	0.03 以下	水産1種、水浴
Ⅲ	0.6 以下	0.05 以下	水産2種
Ⅳ	1.0 以下	0.09 以下	水産3種

(環境省告示見直し(2025年2月)以前)



2 類型指定の見直し

(1) 国の考え方の見直し

環境基準の水域類型は、水質汚濁の状況等を勘案し、水域の利用目的等に配慮して指定するもので、水域の利用の態様の変化等、事情の変更に伴い適宜見直すこととされていますが、指定以来数十年にわたり見直しは行われていませんでした。

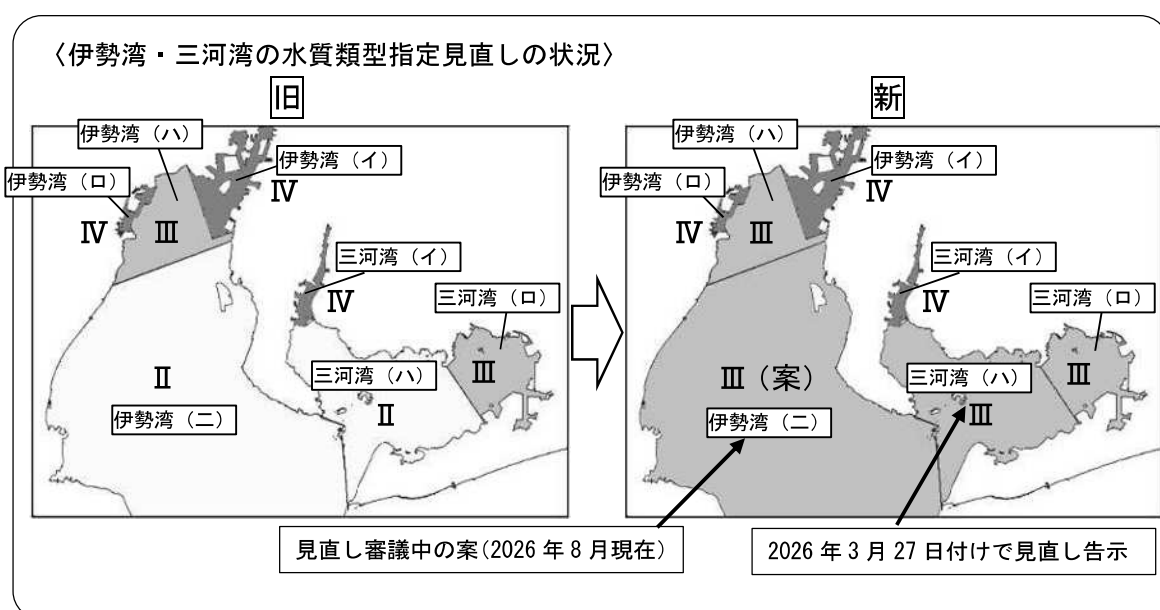
2025年2月14日に環境省は、地域のニーズや実情に応じた柔軟な運用を可能とするため、水質環境基準に関する告示等を改正し、「利用目的の適応性」に係る「水浴」について、水浴を利用目的とする測定点での大腸菌数を規定する見直しを行うとともに、水質の状況や水域の利用目的の態様、科学的知見等に応じて、適切に水質を管理するために水域類型を見直す場合は、「水質の悪化を許容すること」には当たらないとしました。

(2) 三河湾の類型指定の見直し

三河湾の全窒素・全リンに係る水質環境基準の水域類型は、県の告示により指定されています。県環境局は、三河湾（ハ）の海域について、地域のニーズや水域の実情、科学的知見等に応じて適切な水質管理を行うため、全窒素及び全リンの環境基準のあてはめを類型Ⅲに変更することとし、県環境審議会の審議やパブリックコメントを経て、2026年3月27日付けで正式に告示しました。

(3) 伊勢湾の類型指定の見直し

伊勢湾の全窒素・全リンに係る水質環境基準の水域類型は、国の告示により指定されています。環境省は、「伊勢湾(二)の水域は、愛知県栄養塩管理検討会議が示した「漁業生産に必要な栄養塩濃度」（全窒素 0.4mg/L 以上、全リン 0.04mg/L 以上）を下回るⅡ類型に指定されており、水域の利用の態様を踏まえると、類型Ⅲへの変更についての地域のニーズ・実情がある。」とし、類型指定を見直す方針を打ち出し、中央環境審議会での審議などの手続きを進めています。パブリックコメントなどを経て、2026年度中の見直しを目指しています。



3 「きれいで豊かな海」の実現へ

類型指定はあくまでも水環境管理上の基準値であり、その見直しだけで栄養塩が増えるものではありません。

環境省は2026年5月7日に「第10次水質総量削減の在り方について—総量削減から総量管理への転換—」と題する、中央環境審議会の答申を公表しました。これまで進めてきた「水質総量削減制度」を「水質総量管理制度」に転換し、窒素・リンの削減一辺倒からきめ細やかな水環境管理を可能として、「きれいで豊かな海の実現」を目指すとしています。

そのための方策として、県が「栄養塩類管理計画」を策定して、順応的な栄養塩類の管理を計画的に実施することが可能とされました。この計画で栄養塩類増加措置の実施者に位置付けられた事業場は、窒素やリンの排出量について総量規制基準の適用除外になることとされています。

現在、県の策定した「第9次水質総量削減計画」により、伊勢湾・三河湾へ流入する窒素とリンの総量が規制されています。この枠組みは継続しつつ、新たな水質環境基準及び総量管理制度の下で、「きれいで豊かな海」の実現を目指し、次期「愛知県総量管理計画」の検討が進められています。

栽培漁業センターに新たな生産棟が完成

1 栽培漁業について

県では水産資源の維持増大を図るため、「栽培漁業」を進めています。魚介類は、自然の海や川では卵から稚魚・稚貝に育つまでの間に多くが減耗してしまうため、この期間を人間の手で育てた後、海や川へ放流し、自然の生産力で大きく生長した後に漁獲する取組を栽培漁業と呼んでいます。この栽培漁業を推進するため、県は 1978 年に稚魚・稚貝（以下、種苗という）を生産する施設として栽培漁業センターを愛知県田原市に開設し、クルマエビ、アユ、アワビの種苗生産を開始しました。その後、資源状況に即した魚種の見直しなども行い、直近の 5 年間では、当初の 3 魚種の他にガザミ、ヨシエビ、トラフグ、ナマコを加えた合計 7 魚種の種苗が生産されています（10 ページ A 表参照）。

2 栽培漁業の強化に向けて

水産業が将来に向けて持続的に発展していくための施策として、県は愛知県漁業振興計画を 2021 年 3 月に策定し、栽培漁業の強化を重点施策のひとつに位置づけました。また、2022 年 10 月には、2022 年度から 5 年間の本県の栽培漁業の進め方を定めた「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画（第 8 次愛知県栽培漁業基本計画）」を策定しました。これらの計画に基づき、県は漁業者から要望の強いハマグリ、ミルクイ、ワカメ種糸の新規生産やナマコなどの既存魚種の生産量を増産することとし、これらの種苗生産に必要な新たな生産棟を建設することとしました。

A 図 新生産棟で新たに生産を計画している魚種と数量



ハマグリ 1,000 千個



ミルクイ 140 千個



ワカメ種糸 40 k m

3 施設整備の内容

新たな生産棟の整備は、国の交付金を活用し、2022 年度に基本設計を、2023 年度に実施設計を行い、2024 年度から 2025 年度の 2 カ年で建設工事を行いました。

設計にあたっては、2022 年度に施行された愛知県木材利用促進条例に基づき、木造構造を採用しました。海水を大量に扱う施設であることから、湿気や塩分への対策として、コンクリートの基礎を高くし、あわせて適切な防腐処理を施すことで耐久性を確保しています。

また、建物内部の生産スペースにはフラットな床を採用し、強化プラスチック製の水槽を配置しています。生産する魚種に応じて水槽の配置を柔軟に変更できる設計とすることで、種苗生産の効率化を図っています。

2026 年 2 月 22 日には、知事出席のもと竣工記念式典を開催し、愛知県漁業協同組合連合会会長など漁業関係者にも披露しました。

新たな生産棟が完成したことにより、栽培漁業センターでは、ハマグリ、ミルカイ、ワカメ種糸を加えた 10 種の種苗生産が可能となりました。県では、水産業の持続的な発展に向けて、引き続き栽培漁業を推進し、水産資源の維持増大、漁家経営の安定化に努めていきます。

B図 新たな生産棟「無脊椎動物・藻類生産棟」の外観と内観



4 施設概要

(1) 建物名称

無脊椎動物・藻類生産棟

(2) 施設構造

木造平屋建て 延床面積約 583 m² (間口約 40m×奥行約 15m)

(3) 主な設備

- ・生産スペース (FRP 製水槽)
- ・餌料プランクトン培養恒温室、培地作成室、作業室
- ・種苗計測用分析・計数室
- ・飼育水加温・冷却設備
- ・機械室 (受変電設備、循環ポンプ等)

(4) 事業費等

ア 事業名

県事業名：栽培漁業センター施設設備整備費

国交付金名：浜の活力再生・成長促進交付金 (資源増養殖目標)

イ 事業費

総額 726,445 千円

(内訳)

基本設計： 7,517 千円 (県単独)

実施設計： 17,160 千円 (国 7,951 千円、県 9,209 千円)

建設工事： 694,980 千円 (国 310,234 千円、県 384,746 千円)

工事監理： 5,335 千円 (県単独)

事務費： 1,453 千円 (県単独)

天然アユを活用した放流技術開発の取組について

1 河川漁協の現状

河川漁協は、アユの放流によって資源と漁場の維持管理に努めています。特にダムや堰堤によって天然のアユが遡上できない河川では、放流が重要な役割を果たしています。一方で、漁協の支出の中で大きな割合を占めるアユの放流は、近年の釣り人減少に伴う遊漁料収入の落ち込みや物価高騰による経費増大等の影響を受け、財政面の負担が大きくなっています。このため、天然アユ資源を有効に活用して、経済性の高い放流技術の開発が求められています。

2 天然アユの汲み上げ放流の取組

豊川水系の7漁協では、漁場管理の新たな手法として水系全体で天然アユ資源を有効活用する「汲み上げ放流」に2025年度から本格的に取り組んでいます。この取組では、4月中旬から5月下旬にかけて、下流の牟呂松原頭首工の魚道で採捕した天然アユを、堰堤などで遡上が困難となっている上流域の漁場へ放流しています（A図）。

A図 豊川水系での汲み上げ放流の取組



3 汲み上げ放流の追跡調査

水産試験場では、汲み上げ放流した天然アユの放流効果を
確認するために、友釣りなどにより追跡調査を行いました(B図)。

その結果、汲み上げ放流について以下の3つの利点が明らかになりました。

- ① 6月の遊漁解禁直後から釣れるが、人工産アユと比べて大型化している個体は少ないため、人工産アユ放流と併せて行うことで遊漁期の初期から中期の釣果が安定すること。
- ② 個体によって成長のスピードが異なるため、大型化した個体からなわばりを形成し、友釣りの対象となるため、遊漁期間が比較的長く維持されること。
- ③ 放流用の人工産アユを購入するよりもコストが抑えられるため、放流経費の削減につながると考えられること。

B図 調査により捕獲した天然アユ



4 汲み上げ放流による効果

2025年度の放流を、すべて「汲み上げ放流」により実施した漁協の放流経費を分析したところ、天然アユを活用したことで、アユの放流に係る費用は過去3年間の平均と比べて約半分に削減されました。

この結果から、天然アユの汲み上げ放流は、放流経費の削減に寄与し、持続的な漁場管理や漁協運営において効果的であることが示されました。

5 今後の取組

「汲み上げ放流」の有効性は示されましたが、一方で人工産アユも、数量や放流サイズ、放流時期を調整することができ、漁場管理には大変有効です。今後は、汲み上げ天然アユの有効活用に加え、遊漁期間の初期から中期の釣果向上を目的とした人工産アユの放流サイズ等を調整し、両者を効果的に組み合わせた、より経済性の高い放流技術の開発に取り組んでいきます(C図)。

漁協によって、天然アユが遡上するかどうか、汲み上げ放流を実施できるかどうか、そして経営状況や漁場環境などが異なり、置かれている状況は大きく異なります。そのため、それぞれの漁協の実情に応じた、きめ細かな放流方法を提案していくことが重要と考えています。

汲み上げ放流を実施する漁協に対しては、各種調査への協力や技術的な助言、情報提供などの支援を行い、効果の高い放流技術の開発を推進していきます。

C図 今後の取組について



[資 料 編]

目 次

I 愛知の水産業

1 経済活動別県内純生産	28
2 経済活動別就業者数	28
3 愛知県の漁業・養殖業全国順位	29・30
4 主な品目別の愛知県の漁獲量（生産量）全国順位	30

II 漁業経営

5 階層別地域別海面漁業・養殖業経営体数	31
6 主とする（販売金額第一位の）漁業種類別海面漁業・養殖業経営体数	31
7 市町別海面漁業・養殖業経営体数	32
8 男女別・男子年齢別漁業就業者数	32
9 新規漁業就業者数	32
10 漁業権免許件数一覧表	33
11 遊漁船業者登録件数	33
12 漁家経済	33
13 漁業近代化資金利子補給承認状況	34
14 漁業振興資金融資状況	34
15 沿岸漁業改善資金融資状況	34
16 地域別海水動力漁船隻数	35

III 漁場と資源

17 赤潮の経年変化（月別）	36
18 赤潮の経年変化（水域別）	36
19 苦潮発生状況とその漁業被害	36
20 漁港整備計画別事業費実績	37
21 沿岸漁業構造改善事業等実績	37
22 水産振興対策事業実績	38
23 漁場整備事業実績	38

IV 漁業生産

24 漁業総生産	39
25 海面漁業魚種別漁獲量	40
26 海面漁業魚種別産出額	41
27 海面漁業種類別魚種別漁獲量	42
28 内水面漁業魚種別漁獲量	43
29 内水面漁業魚種別産出額	43
30 内水面養殖業魚種別収獲量	43
31 内水面養殖業魚種別産出額	43
32 観賞魚養殖状況	44
33 しらすうなぎ池入数量	44

V 流通加工

34 中央卸売市場における水産物の取扱数量・金額、平均価格	45
-------------------------------	----

(付属資料)

35 沿海漁業協同組合及び内水面漁業協同組合の位置図	46
36 2025年度の主な水産年譜	47
37 愛知県の水産業に関する地勢	47

*使用上の注意

◎表によっては、四捨五入のため計と内訳が一致しない場合がある。

◎内水面養殖業の総生産量には、観賞魚の生産量を含まない。

◎内水面養殖業の総産出額には、観賞魚の産出額を含む。

I 愛知の水産業

1 経済活動別県内純生産

(単位：百万円)

項 目 \ 年 度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
産 業						
(1) 第 1 次 産 業	115,557	115,137	110,917	113,478	108,067	109,462
農 業	100,038	99,475	96,821	99,268	93,292	93,649
林 業	1,561	1,744	1,631	1,501	1,622	1,459
水 産 業	13,958	13,918	12,466	12,710	13,153	14,353
(2) 第 2 次 産 業	10,966,626	9,595,640	9,045,538	9,167,360	10,072,477	11,857,770
鉱 業	4,026	4,107	4,199	3,961	6,214	6,112
製 造 業	9,585,308	8,165,834	7,681,433	7,676,316	8,606,760	10,410,920
建 設 業	1,377,292	1,425,699	1,359,906	1,487,083	1,459,503	1,440,738
(3) 第 3 次 産 業	17,570,944	17,524,231	16,274,863	16,592,482	17,048,480	18,146,474
電気・ガス・水道・廃棄物処理業	443,634	430,202	402,344	207,643	163,267	501,052
卸 売 ・ 小 売 業	4,031,386	3,861,518	3,491,467	3,791,710	3,977,386	4,099,140
運 輸 ・ 郵 便 業	1,449,559	1,424,764	903,151	918,145	1,044,610	1,230,598
情 報 通 信 業	863,713	850,119	829,448	812,675	769,149	774,387
金 融 ・ 保 険 業	1,031,324	1,062,236	1,038,053	1,071,909	1,188,335	1,341,237
不 動 産 業	1,953,098	1,998,494	2,045,949	1,989,573	1,921,124	1,880,517
サ ー ビ ス 業	7,798,230	7,896,898	7,564,451	7,800,827	7,984,609	8,319,543
合 計	28,653,127	27,235,008	25,431,318	25,873,320	27,229,024	30,113,706
(再 掲)						
市 場 生 産 者	26,601,381	25,157,630	23,292,364	23,735,723	25,080,984	27,984,288
一 般 政 府	1,516,295	1,504,163	1,538,570	1,537,186	1,546,978	1,528,180
対 家 計 民 間 非 営 利 団 体	535,451	573,215	600,384	600,410	601,061	601,239
小 計	28,653,127	27,235,008	25,431,318	25,873,320	27,229,024	30,113,706

資料：あいちの県民経済計算（県統計課）

2 経済活動別就業者数（従業地ベース）

(単位：人)

項 目 \ 年 度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
産 業						
(1) 第 1 次 産 業	82,076	80,879	80,271	80,308	80,245	80,249
農 業	77,291	76,290	75,848	75,883	75,816	75,821
林 業	851	833	834	834	834	834
水 産 業	3,934	3,756	3,589	3,591	3,595	3,594
(2) 第 2 次 産 業	1,324,744	1,311,773	1,306,185	1,277,496	1,257,954	1,253,933
鉱 業	948	896	862	856	859	857
製 造 業	1,045,172	1,033,851	1,028,616	1,003,098	994,535	987,436
建 設 業	278,624	277,026	276,707	273,542	262,560	265,640
(3) 第 3 次 産 業	2,745,569	2,788,971	2,787,607	2,820,677	2,790,698	2,802,365
電気・ガス・水道・廃棄物処理業	31,311	32,937	33,259	32,475	30,158	32,773
卸 売 ・ 小 売 業	654,015	656,769	663,473	668,281	646,129	650,124
運 輸 ・ 郵 便 業	268,160	269,685	271,168	269,664	267,248	263,173
情 報 通 信 業	92,158	94,998	101,931	103,754	99,975	99,772
金 融 ・ 保 険 業	85,048	82,868	81,952	80,060	76,190	74,133
不 動 産 業	61,530	63,557	65,597	67,692	67,692	69,873
サ ー ビ ス 業	1,553,347	1,588,157	1,570,227	1,598,751	1,603,306	1,612,517
合 計	4,152,389	4,181,623	4,174,063	4,178,481	4,128,897	4,136,547
(再 掲)						
市 場 生 産 者	3,794,657	3,817,030	3,806,258	3,807,627	3,762,596	3,770,292
一 般 政 府	201,976	205,069	205,949	206,643	204,018	203,991
対 家 計 民 間 非 営 利 団 体	155,756	159,524	161,856	164,211	162,283	162,264
小 計	4,152,389	4,181,623	4,174,063	4,178,481	4,128,897	4,136,547

資料：あいちの県民経済計算（県統計課）

注）「あいちの県民経済計算」の計数は、最近の年度を中心に推計方法の改善等により改定を行うことがあります。

3 愛知県の漁業・養殖業全国順位（2024年）

(1) 生産量

（単位：t）

区分	順位		1 位		2 位		3 位		4 位		5 位		全 国
	年												
海面漁業	2015	北海道	864,389	長崎	295,998	茨城	225,313	静岡	206,656	16位 愛知	72,056	3,549,740	
	2016	北海道	749,912	長崎	286,490	茨城	244,372	静岡	183,378	13位 愛知	77,711	3,263,618	
	2017	北海道	738,957	長崎	317,069	茨城	295,345	静岡	202,227	15位 愛知	69,970	3,258,020	
	2018	北海道	876,625	長崎	290,591	茨城	259,031	静岡	195,419	17位 愛知	61,727	3,359,530	
	2019	北海道	882,301	茨城	290,796	長崎	250,771	宮城	195,460	16位 愛知	59,934	3,228,025	
	2020	北海道	894,911	茨城	302,213	長崎	228,051	静岡	184,055	17位 愛知	53,459	3,213,035	
	2021	北海道	910,347	茨城	299,686	静岡	249,515	長崎	247,359	16位 愛知	52,835	3,236,480	
	2022	北海道	870,286	茨城	285,164	長崎	262,233	宮城	187,176	19位 愛知	37,581	2,950,992	
	2023	北海道	842,704	長崎	292,890	茨城	259,496	宮城	180,369	19位 愛知	38,589	2,926,411	
	2024	北海道	785,802	長崎	297,100	茨城	231,853	宮城	164,547	21位 愛知	27,927	2,786,195	
海面養殖業	2015	北海道	166,125	広島	110,730	青森	101,091	宮城	76,752	21位 愛知	12,679	1,069,017	
	2016	青森	120,913	北海道	111,291	広島	99,695	宮城	84,546	19位 愛知	13,330	1,032,507	
	2017	広島	107,243	宮城	91,418	北海道	82,418	青森	79,531	19位 愛知	13,746	986,056	
	2018	北海道	118,509	広島	107,678	青森	84,968	兵庫	81,231	21位 愛知	11,213	1,004,871	
	2019	広島	101,952	青森	99,138	宮城	75,268	北海道	73,851	21位 愛知	9,744	913,775	
	2020	広島	99,158	北海道	94,115	宮城	83,798	青森	81,374	21位 愛知	10,292	970,081	
	2021	北海道	108,567	広島	95,143	宮城	83,040	青森	79,884	21位 愛知	8,264	926,594	
	2022	北海道	114,826	広島	99,344	宮城	88,889	青森	79,635	24位 愛知	7,891	911,839	
	2023	北海道	114,359	広島	92,134	宮城	88,994	愛媛	62,475	20位 愛知	9,391	851,509	
	2024	北海道	111,722	広島	96,026	愛媛	67,747	宮城	62,783	21位 愛知	8,637	802,927	
内水面漁業	2015	北海道	13,396	青森	5,957	島根	4,092	茨城	1,884	26位 愛知	53(165)	32,917	
	2016	北海道	10,104	青森	5,193	島根	4,241	茨城	1,881	26位 愛知	47(145)	27,937	
	2017	北海道	7,635	青森	4,835	島根	4,077	茨城	2,551	27位 愛知	35(123)	25,215	
	2018	北海道	10,101	島根	4,250	青森	4,147	茨城	2,520	24位 愛知	65(148)	26,957	
	2019	北海道	6,377	島根	4,090	青森	3,859	茨城	2,605	26位 愛知	36(111)	21,767	
	2020	北海道	7,106	島根	4,121	青森	3,300	茨城	2,438	30位 愛知	18(84)	21,745	
	2021	北海道	5,310	島根	4,254	青森	2,887	茨城	2,382	40位 愛知	1(64)	18,904	
	2022	北海道	9,711	島根	4,372	青森	2,655	茨城	1,836	39位 愛知	2(57)	22,612	
	2023	北海道	8,277	島根	4,643	青森	2,799	茨城	2,317	27位 愛知	15(76)	21,567	
	2024	北海道	5,223	島根	4,688	青森	3,084	茨城	1,701	22位 愛知	29(77)	17,915	
内水面養殖	2015	鹿児島	8,277	愛知	6,485	宮崎	4,047	静岡	3,256	長野	1,599	36,336	
	2016	鹿児島	8,074	愛知	6,127	宮崎	3,945	静岡	3,112	長野	1,654	35,198	
	2017	鹿児島	8,653	愛知	7,146	宮崎	3,914	静岡	3,139	長野	1,607	36,839	
	2018	鹿児島	6,468	愛知	4,858	宮崎	3,133	静岡	2,761	長野	1,600	29,849	
	2019	鹿児島	7,169	愛知	5,725	宮崎	3,604	静岡	2,784	長野	1,591	31,108	
	2020	鹿児島	7,125	愛知	5,668	宮崎	3,252	静岡	2,499	長野	1,306	29,087	
	2021	鹿児島	8,837	愛知	6,712	宮崎	3,933	静岡	2,575	長野	1,322	32,854	
	2022	鹿児島	7,976	愛知	5,434	宮崎	3,942	静岡	3,420	長野	1,322	31,503	
	2023	鹿児島	7,966	愛知	4,763	宮崎	3,583	静岡	3,527	静岡	3,527	30,341	
	2024	鹿児島	7,254	愛知	5,246	静岡	3,180	宮崎	2,853	長野	1,293	29,131	

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）内水面漁業における括弧内の数値は遊漁による漁獲量も加えた値（水産課調べ）。

内水面漁業の愛知県順位は秘匿県を除いた参考値である。

(2) 産 出 額

(単位：億円)

区分	年	順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	全 国
海面漁業	2015		北海道 2,608	長崎 681	静岡 559	宮城 530	19位 愛知 180	10,008
	2016		北海道 2,494	長崎 644	静岡 547	宮城 527	19位 愛知 144	9,619
	2017		北海道 2,443	長崎 679	静岡 579	宮城 563	20位 愛知 126	9,628
	2018		北海道 2,382	長崎 636	宮城 563	静岡 529	17位 愛知 173	9,379
	2019		北海道 2,068	長崎 629	宮城 585	静岡 464	19位 愛知 159	8,682
	2020		北海道 1,801	長崎 564	宮城 487	静岡 432	18位 愛知 131	7,735
	2021		北海道 2,287	長崎 571	静岡 485	宮城 443	16位 愛知 135	8,037
	2022		北海道 2,730	長崎 653	宮城 630	静岡 412	16位 愛知 117	9,136
	2023		北海道 2,396	長崎 709	宮城 585	静岡 511	16位 愛知 169	9,510
	2024		北海道 2,454	長崎 650	宮城 578	静岡 462	23位 愛知 113	8,894
海面養殖業	2015		北海道 587	鹿児島 556	愛媛 553	長崎 319	22位 愛知 40	4,866
	2016		愛媛 655	鹿児島 548	北海道 506	熊本 359	22位 愛知 45	5,097
	2017		愛媛 614	鹿児島 530	熊本 381	長崎 378	20位 愛知 51	4,979
	2018		愛媛 684	鹿児島 535	北海道 368	長崎 360	22位 愛知 36	4,861
	2019		愛媛 662	鹿児島 549	長崎 384	熊本 325	22位 愛知 35	4,802
	2020		愛媛 586	鹿児島 467	長崎 328	熊本 287	22位 愛知 29	4,368
	2021		愛媛 695	鹿児島 472	長崎 365	熊本 299	22位 愛知 20	4,515
	2022		愛媛 793	鹿児島 580	長崎 456	北海道 405	22位 愛知 27	5,211
	2023		愛媛 849	鹿児島 566	長崎 529	北海道 440	22位 愛知 30	5,731
	2024		愛媛 939	鹿児島 618	長崎 524	熊本 388	22位 愛知 55	5,891

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）内水面産出額の都道府県別統計は公表されていない。
海面漁業の愛知県順位は秘匿県を除いた参考値である。

4 主な品目別の愛知県の漁獲量（生産量）全国順位

魚種	年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025 (注)
かたくちいわし		3位	2位	4位	5位	3位	3位	6位	5位	5位	5位	6位
しらす		2位	3位	3位	2位	2位	2位	2位	2位	3位	3位	2位
にぎす類		4位	3位	3位	3位	2位	2位	3位	4位	5位	-	*
くろだい		1位	1位	1位	2位	1位	2位	2位	2位	2位	2位	*
すずき類		3位	3位	3位	3位	3位	3位	4位	4位	4位	4位	4位
くるまえば		2位	2位	2位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位
がざみ類		2位	2位	3位	3位	1位	1位	1位	1位	1位	2位	*
あさり類		1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	2位	3位
のり養殖		7位	7位	7位	7位	7位	7位	6位	7位	6位	6位	7位
うなぎ養殖		2位	2位	2位	2位	2位	2位	2位	2位	2位	2位	2位
あゆ養殖		1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	1位	2位	2位	1位
きんぎょ養殖		2位	2位	2位	2位	2位	2位	2位	2位	2位	2位	2位

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）、ただしきんぎょ養殖は水産課調べ

（注）2025年は概数値で、*印は順位が未確定。-は秘匿のため不明。

Ⅱ 漁 業 経 営

5 階層別地域別海面漁業・養殖業経営体数

年	階層 地域	総数	漁 船 非使用	無動力船	1 t 未満	1 ～ 5 t	5 t 以上	小型定置 地びき網	浅海養殖
2003	県 計	2,790	75	1	768	820	558	62	506
	海 部	3	—	x	—	—	—	—	—
	知 多	1,349	—	x	152	576	305	26	x
	西 三 河	847	x	—	x	x	x	x	x
2008	東 三 河	591	x	x	x	x	x	x	x
	県 計	2,530	96	2	805	701	515	47	364
	知 多	1,199	1	—	168	470	300	20	240
	西 三 河	736	x	x	x	x	x	x	x
2013	東 三 河	595	x	x	x	x	x	x	x
	県 計	2,348	58	1	851	657	470	44	267
	知 多	1,104	1	—	200	392	280	20	211
	西 三 河	695	x	x	x	x	x	x	x
2018	東 三 河	549	23	1	303	110	71	15	26
	県 計	1,924	61	—	719	487	398	43	216
	知 多	993	x	x	x	x	x	x	x
	西 三 河	479	x	x	x	x	x	x	x
2023	東 三 河	452	37	—	283	42	48	12	30
	県 計	1,640	63	—	620	391	353	32	181
	知 多	861	11	—	202	x	251	17	29
	西 三 河	407	25	—	181	x	67	7	20
	東 三 河	372	27	—	237	x	35	8	132

資料：漁業センサス（農林水産省統計部）

6 主とする（販売金額第一位の）漁業種類別海面漁業・養殖業経営体数

年 漁業種類	2003	2008	2013	2018	2023
県 計	2,790	2,530	2,348	1,924	1,640
沖 合 底 び き 網	4	4	4	4	4
小 型 底 び き 網	603	539	492	388	285
ま き 網	7	4	—	—	—
刺 網	263	226	183	193	171
釣	279	204	184	171	142
は え 縄	29	23	7	7	12
地 び き 網	16	…	…	…	…
船 び き 網	115	106	102	110	105
小 型 定 置 網	62	47	44	43	32
そ の 他 の 網 漁 業	…	21	4	5	24
採 貝	649	…	…	…	…
採 藻	17	…	…	…	…
採 貝 ・ 採 藻	…	747	796	536	465
潜 水 器 漁 業	126	113	124	125	112
そ の 他 の 漁 業	130	132	141	126	107
の り 養 殖 業	467	341	233	184	153
わ か め 養 殖 業	14	19	31	31	22
そ の 他 養 殖 業	9	4	3	1	6

資料：漁業センサス（農林水産省統計部）

7 市町別海面漁業・養殖業経営体数

年 市町	2003	2008	2013	2018	2023
県計	2,790	2,530	2,348	1,924	1,640
弥富市	3	-	-	-	-
東浦町	-	-	-	-	1
東海市	-	-	-	-	1
常滑市	227	189	171	148	132
半田市	-	-	-	1	-
武豊町	-	-	-	1	-
美浜町	133	117	105	86	73
南知多町	989	893	828	757	655
碧南市	56	47	60	25	31
西尾市	62	52	634	454	375
一色町	531	459			
吉良町	95	79			
幡豆町	102	98			
刈谷市	1	1	1	-	-
蒲郡市	95	81	66	68	62
御津町	-	-	-	-	-
豊橋市	9	15	-	-	1
田原市	58	499	483	384	309
赤羽根町	-				
渥美町	429				

資料：漁業センサス（農林水産省統計部）

注）2003年に田原町と赤羽根町が合併したため、統計上の区分が田原市となった。

2005年に田原市と渥美町が合併したため、統計上の区分が田原市となった。

2011年に西尾市、一色町、吉良町、幡豆町が合併したため、統計上の区分が西尾市となった。

8 男女別・男子年齢別漁業就業者数

（単位：人）

年	区分	合計	男子					女子
			計	15～24才	25～39才	40～59才	60才以上	
2003		5,304	4,091	178	679	1,467	1,767	1,213
2008		4,964	4,015	132	637	1,356	1,890	949
2013		4,319	3,555	159	586	1,142	1,668	764
2018		3,373	2,937	108	433	1,022	1,374	436
2023		2,861	2,480	65	358	857	1,200	381

資料：「漁業センサス」（農林水産省統計部）

9 新規漁業就業者数

（単位：人）

年度	海部	知多	西三河	新城設楽	東三河	計	中学校卒	高等学校卒	その他学卒	その他（転職等）
2019	1	9	2	0	2	14	0	6	0	8
2020	0	9	1	2	3	15	3	1	2	9
2021	0	8	2	0	3	13	0	3	1	9
2022	1	4	3	1	5	14	1	2	0	11
2023	0	9	2	1	6	18	0	2	1	15
2024	0	13	4	1	4	22	0	5	0	17

資料：県水産課調べ

10 漁業権免許件数一覧表

種類 内訳		共 同 漁 業 権				区 画 漁業権	合 計
		第1種 第2種	第3種 (つきいそ)	第5種	計		
海面	知 多	12	71	－	83	39	122
	西 三 河	5	30	－	35	21	56
	東 三 河	19	19	－	38	36	74
	小 計	36	120	0	156	96	252
内 水 面		－	－	21	21	2	23
県 計		36	120	21	177	98	275

注) 1. 海面第3種共同漁業権については、つきいそ以外は第1種・第2種の欄に含めてある。
2. 2026年1月1日現在の件数である。
資料：県水産課調べ

11 遊漁船業者登録件数 (2025年3月31日現在)

地区	尾張・名古屋市	海部	知多	西三河	東三河	その他	計
遊漁船業者数 (うち漁協所屬業者数)	56 (0)	11 (1)	162 (128)	33 (11)	34 (19)	4 (0)	300 (159)
遊漁船隻数 (うち漁船隻数)	62 (0)	14 (1)	202 (151)	47 (23)	36 (21)	5 (0)	366 (196)

注) その他は、豊田加茂地区、新城設楽地区の合計
資料：県水産課調べ

12 漁家経済

(単位：千円)

項目 年					漁労外事業所得		漁労所得									
		事業 所得	漁労 所得	漁労外 事業 所得	漁労外 事業 収入	漁労外 事業 支出	漁 労 収 入	漁労支出								
								計	雇 用 労 賃	漁船・ 漁具費	油 費	種苗代	修繕費	販 売 手数料	減 価 償却費	その他 支 出
漁船漁業	2018	2,492	2,289	203	355	152	9,365	7,076	1,950	532	1,105	1	528	507	699	1,754
	2019	3,232	2,995	237	379	142	11,288	8,293	2,013	627	1,330	1	685	662	805	2,170
	2020	2,900	2,573	327	456	129	9,433	6,860	1,499	552	1,069	1	531	489	887	1,832
	2021	3,352	3,046	306	463	157	9,861	6,815	1,588	567	1,125	13	538	516	871	1,597
	2022	3,479	2,790	689	983	294	9,843	7,053	1,625	657	1,199	2	576	585	753	1,656
	2023	3,352	3,046	306	463	157	9,861	6,815	1,588	567	1,125	13	538	516	871	1,597
	2024	3,062	2,443	619	996	377	8,894	6,451	1,491	470	1,279	2	491	545	463	1,710
のり養殖業	2018	9,130	9,021	109	297	188	30,611	21,590	3,650	2,215	2,454	194	2,004	1,996	2,397	6,680
	2019	4,243	3,657	586	658	72	24,752	21,095	4,934	1,437	2,150	269	1,646	1,569	3,273	5,817
	2020	14,482	14,500	△ 18	58	76	37,651	23,151	5,201	1,675	2,333	285	1,415	2,402	3,197	6,643
	2021	18,016	17,785	231	722	491	45,670	27,885	4,941	1,628	2,686	463	1,529	2,813	3,895	9,930
	2022	13,365	13,278	87	450	363	35,835	22,557	4,515	1,399	3,471	510	1,113	2,075	3,951	5,523
	2023	8,752	8,989	△ 237	181	418	46,070	37,081	6,578	4,248	4,631	458	3,730	4,928	5,305	7,203
	2024	40,917	40,862	55	268	213	80,543	39,681	7,076	3,427	5,170	405	3,858	5,422	5,317	9,006

注) 調査期間は、歴年(1～12月)。
漁船漁業は2016年以前は東海2県、17年以降は太平洋中区の数値である。
のり養殖業は東海2県の数値である。
資料：漁業経営調査(農林水産省統計部)

13 漁業近代化資金利子補給承認状況

資金種類 承認額			1 号 資 金（漁船）				2号資金		3号資金		4号資金		5号資金		7号資金		共同利用施設	
			20 t 以上		20 t 未満		漁船漁具保管 修理施設等		漁場造成 器 具 等		漁具養殖 いかだ等		種苗購入等		大臣特認			
年度	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
2019	67	768,540	-	-	40	359,870	3	22,480	4	18,300	-	-	12	252,500	-	-	8	115,390
2020	40	626,610	-	-	16	186,810	9	91,170	1	21,320	-	-	11	207,500	-	-	3	119,810
2021	49	945,410	-	-	21	188,500	6	91,880	-	-	-	-	12	218,500	-	-	10	446,530
2022	37	691,440	-	-	20	228,180	4	113,590	-	-	-	-	8	190,000	-	-	5	159,670
2023	57	810,210	-	-	26	286,570	5	61,470	1	1,760	-	-	14	249,500	-	-	11	210,910
2024	35	576,920	-	-	8	75,920	7	97,570	-	-	-	-	13	275,500	-	-	7	127,930
合計	285	4,419,130	0	0	131	1,325,850	34	478,160	6	41,380	0	0	70	1,393,500	0	0	44	1,180,240

資料：県水産課調べ

14 漁業振興資金融資状況 (単位：千円)

年 度	件 数	貸 付 額
2019	5	169,000
2020	4	169,000
2021	4	180,000
2022	2	70,000
2023	3	85,000
2024	4	105,000

資料：県水産課調べ

15 沿岸漁業改善資金融資状況

(単位：千円)

年度	合 計				資 金 種 類 別 内 訳											
	年 度 内 融 資		年度末貸付残高		経営等改善資金				生活改善資金				青年漁業者等養成確保資金			
					年度内融資		年度末貸付残高		年度内融資		年度末貸付残高		年度内融資		年度末貸付残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
2019	1	14,000	21	136,461	1	14,000	20	127,573	-	-	-	-	-	-	1	8,888
2020	0	0	16	95,235	-	-	15	88,569	-	-	-	-	-	-	1	6,666
2021	1	23,700	15	85,572	1	23,700	14	81,128	-	-	-	-	-	-	1	4,444
2022	0	0	8	47,270	-	-	7	45,048	-	-	-	-	-	-	1	2,222
2023	0	0	6	29,524	-	-	6	29,524	-	-	-	-	-	-	-	-
2024	0	0	5	16,622	-	-	5	16,622	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2	37,700	-	-	2	37,700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：県水産課調べ

16 地域別海水動力漁船隻数

年	地 域	総数	5t未満	5～10t	10～15t	15t以上
2014	全 県	4,965	4,240	331	364	30
	海 部	49	49	-	-	-
	知 多	2,522	2,033	222	253	14
	西 三 河	1,239	1,088	59	85	7
	東 三 河	1,155	1,070	50	26	9
2020	全 県	3,905	3,295	239	344	27
	海 部	38	38	-	-	-
	知 多	2,099	1,662	176	247	14
	西 三 河	850	744	32	70	4
	東 三 河	918	851	31	27	9
2021	全 県	3,833	3,228	238	341	26
	海 部	33	33	-	-	-
	知 多	2,071	1,639	174	244	14
	西 三 河	831	725	33	70	3
	東 三 河	898	831	31	27	9
2022	全 県	3,712	3,112	236	338	26
	海 部	33	33	-	-	-
	知 多	2,005	1,576	175	240	14
	西 三 河	808	703	32	71	2
	東 三 河	866	800	29	27	10
2023	全 県	3,613	3,019	235	333	26
	海 部	29	29	-	-	-
	知 多	1,948	1,521	174	239	14
	西 三 河	797	696	32	67	2
	東 三 河	839	773	29	27	10
2024	全 県	3,533	2,941	234	331	27
	海 部	26	26	-	-	-
	知 多	1,907	1,479	174	239	15
	西 三 河	783	684	32	66	1
	東 三 河	817	752	28	26	11

資料：漁船統計表（水産庁）

Ⅲ 漁 場 と 資 源

17 赤潮の経年変化（月別）

年度 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	県 計
2019	件 数	1	2	3	[2] 7	2	[1] 3	5	[2] 3	[1] 2	1	[1] 2	4	28 (28)
	日 数	17	18	47	77	9	26	20	50	18	17	31	6	336 (336)
2020	件 数	0	1	[1] 5	4	1	2	[1] 3	2	0	0	0	0	16 (16)
	日 数	0	8	29	20	1	24	16	11	0	0	0	0	109 (109)
2021	件 数	2	[1] 3	3	5	[1] 7	4	1	2	2	[1] 1	0	1	28 (28)
	日 数	4	14	3	29	39	13	1	2	6	23	0	1	135 (135)
2022	件 数	0	3	[1] 5	[1] 4	3	5	[1] 4	0	1	0	0	1	23 (23)
	日 数	0	5	18	33	15	14	22	0	15	0	0	1	123 (123)
2023	件 数	0	2	6	[1] 6	1	1	0	1	0	1	1	0	18 (18)
	日 数	0	4	32	17	1	1	0	10	0	1	1	0	67 (67)
2024	件 数	1	1	4	3	0	2	4	0	0	0	0	0	15 (15)
	日 数	1	6	4	20	0	13	4	0	0	0	0	0	48 (48)
2025	件 数	0	2	4	3	5	1	2	0	0	0	0	0	17 (17)
	日 数	0	9	10	3	11	1	2	0	0	0	0	0	36 (36)

注) 日数は延べ日数

資料：県水産試験場調べ

[]内の数字は前月から引き続いて発生した件数で内数

() 内は渥美外海の発生件数を含む件数

18 赤潮の経年変化（水域別）

年度 \ 水域		県 計	水域区分		
			伊勢湾	知多湾	渥美湾
2019	件 数	28 (28)	8	8	12
	日 数	336 (336)	83	102	151
2020	件 数	16 (16)	4	5	7
	日 数	109 (109)	8	19	82
2021	件 数	28 (28)	7	7	14
	日 数	135 (135)	7	27	101
2022	件 数	23 (23)	6	7	10
	日 数	123 (123)	24	42	57
2023	件 数	18 (18)	3	5	10
	日 数	67 (67)	13	6	48
2024	件 数	15 (15)	4	5	6
	日 数	48 (48)	4	16	28
2025	件 数	17 (17)	6	6	5
	日 数	36 (36)	25	6	5

注) 日数は延べ日数

資料：県水産試験場調べ

() 内は渥美外海の発生件数を含む件数

19 苦潮発生状況とその漁業被害

年度	発生回数	水域区分			漁業被害
		伊勢湾	知多湾	渥美湾	
2019	2 (1)	0	0	2 (1)	一部の漁場であさり稚貝のへい死
2020	2 (1)	0	0	2 (1)	魚介類の衰弱、へい死
2021	2 (1)	0	0	2 (1)	一部の漁場であさり稚貝のへい死
2022	3 (1)	0	0	3 (1)	魚介類の衰弱、へい死
2023	4 (3)	0	0	4 (3)	魚介類の衰弱、へい死
2024	2 (2)	0	0	2 (2)	魚介類の衰弱、へい死
2025	2 (2)	0	0	2 (2)	魚介類の衰弱、へい死

資料：県水産試験場調べ

注) () 内は魚介類に影響が確認された件数（独立した発生地区ごとに1件とした）

20 漁港整備計画別事業費実績

(単位：千円)

	年度	水産基盤整備事業						農山漁村地域整備交付金					地方創生推進 農林漁業交付金	災害	県 計
		流通・生 産	産機能保全	機能強化	漁村整備	漁村再生	漁港環境	漁集環境	水域環境	海 岸		漁港・海岸			
第4次長計	2019	154,000	0	983,612	131,898	0	9,997	0	0	0	306,059	15,000	0	1,600,566	
	2020	196,999	0	1,083,582	325,880	0	149,999	0	10,000	0	446,804	65,000	0	2,278,264	
	2021	64,999	0	876,347	161,075	16,100	77,717	0	0	0	488,265	74,000	0	1,758,503	
第5次長計	2022	91,000	0	707,995	269,000	19,600	249,999	0	0	0	437,101	0	272,665	2,047,360	
	2023	90,000	0	744,308	317,059	31,350	69,988	0	0	0	313,833	0	39,199	1,605,737	
	2024	108,000	0	810,498	344,999	18,040	109,999	0	0	0	324,908	0	0	1,716,444	
	2025	90,000	0	860,134	570,620	34,210	124,000	0	0	0	200,910	0	0	1,879,874	
	計	794,998	0	6,066,476	2,120,531	119,300	791,699	0	10,000	0	2,517,880	154,000	311,864	12,886,748	

繰越分の実績は予算が措置された年度に計上

資料：県水産課調べ

21 沿岸漁業構造改善事業等実績（国庫補助事業）

(1) 漁村コミュニティ基盤整備事業

(単位：千円)

国 の 事 業 名	実施年度	事 業 項 目	件 数	事業費総額	国費＋県費	備 考
産地水産業強化支援事業	2012～2013	渡 船 場 上 屋 施 設 整 備	1件	102,374	53,957	
水産業強化支援事業	2017～2018	渡 船 場 上 屋 施 設 整 備	1件	133,584	80,817	

資料：県水産課調べ

(2) のり養殖経営構造改善事業

(単位：千円)

国 の 事 業 名	実施年度	事 業 項 目	件 数	事業費総額	国費＋県費	備 考
産地水産業強化支援事業	2012～2016	のり共同加工場施設整備	1件	1,712,570	938,723	

資料：県水産課調べ

(3) 水産業競争力強化施設整備事業

(単位：千円)

国 の 事 業 名	実施年度	事 業 項 目	件 数	事業費総額	国費＋県費	備 考
水産業競争力強化緊急施設整備事業	2016～2021	鮮 度 保 持 施 設 整 備	2件	925,200	462,600	

資料：県水産課調べ

(4) のり競争力強化対策事業

(単位：千円)

国 の 事 業 名	実施年度	事 業 項 目	件 数	事業費総額	国費＋県費	備 考
水産業強化支援事業	2017～2018	のり共同加工場施設整備	5件	237,575	142,304	

資料：県水産課調べ

(5) 水産業強化対策整備事業

(単位：千円)

国 の 事 業 名	実施年度	事 業 項 目	件 数	事業費総額	国費＋県費	備 考
水産業強化支援事業	2019～2022	鮮 度 保 持 施 設	9件	1,748,756	1,218,710	
水産業強化支援事業	2023～2024	避 難 施 設	1件	213,236	143,799	

資料：県水産課調べ

(6) 水産業競争力強化施設緊急整備事業

(単位：千円)

国 の 事 業 名	実施年度	事 業 項 目	件 数	事業費総額	国費＋県費	備 考
地方創生臨時交付金	2020～2021	海水供給システム整備	1件	82,000	41,000	

資料：県水産課調べ

22 水産振興対策事業実績（県補助事業）
漁業生産力強化総合対策事業実績

（金額単位：円）

年度	補助対象施設	事業主体	事業実施主体	事業内容	補助対象事業費	負担区分	
						県費	その他
2024	水産物荷捌き施設	美浜町	野間漁協	海苔金属検出機整備	1,525,000	762,000	763,000
		美浜町	野間漁協	照明器具整備	6,350,000	3,175,000	3,175,000
		南知多町	片名・日間賀島漁協	市場照明設備整備	7,250,000	3,625,000	3,625,000
		西尾市	西三河漁協	水産物販売施設通路のアーケード整備	42,700,000	21,150,000	21,550,000
	水産物鮮度保持施設	常滑市	鬼崎漁協	冷凍機整備	26,105,000	11,920,000	14,185,000
	運搬施設	田原市	小中山漁協	浮棧橋整備	2,450,000	1,077,000	1,373,000
		蒲郡市	蒲郡漁協	資材運搬車	1,076,100	523,500	552,600
	合併など漁協の機能統合により不要となった施設	西尾市	衣崎漁協	水産物荷さばき施設撤去	12,000,000	6,000,000	6,000,000
2024年度計					99,456,100	48,232,500	51,223,600
2025	築いそ	南知多町	片名漁協	魚礁整備	13,500,000	6,750,000	6,750,000
	種苗生産施設の附帯施設	美浜町	野間漁協	灯浮標整備	2,900,000	1,450,000	1,450,000
		常滑市	鬼崎漁協	ICTブイ整備	5,400,000	2,700,000	2,700,000
		常滑市	鬼崎漁協	資材運搬車整備	4,350,000	2,175,000	2,175,000
	運搬施設	南知多町	大井漁協	資材運搬車整備	1,462,155	731,000	731,000
		西尾市	西三河漁協	棧橋整備	9,000,000	4,500,000	4,500,000
		田原市	渥美漁協	浮棧橋整備	1,765,000	882,000	882,000
		田原市	渥美漁協	資材運搬車整備	2,110,000	1,055,000	1,055,000
		田原市	小中山漁協	浮棧橋整備	4,424,960	2,212,000	2,212,000
		西尾市	衣崎漁協	給水管改良工事	2,300,000	1,150,000	1,150,000
		蒲郡市	蒲郡漁協	漁船洗浄機整備	2,080,000	1,040,000	1,040,000
		田原市	渥美漁協	漁船専用船台整備	875,000	437,500	437,500
	合併など漁協の機能統合により不要となった施設	西尾市	衣崎漁協	種苗生産施設撤去	6,400,000	3,200,000	3,200,000
2025年度計					56,567,115	28,282,500	28,282,500

23 漁場整備事業実績

（1）あさりとさかな漁場総合整備事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国 費	県 費	地 元	備 考
				千円	千円	千円	千円	
第4次長計	2017～2021	11	25.3ha 6,663.3空m ³	882,906	431,296	451,610	—	・実施場所 干潟・浅場造成：西尾、田原 魚 礁 整 備：高松中部 ・国事業名 水産環境整備事業
第5次長計	2022～2026	10	38.9ha 9,259.9空m ³	1,902,468	935,803	966,665	—	・実施場所 干潟・浅場造成：西尾、田原 魚 礁 整 備：高松中部（2022～2023） 黒八場（2024～2025） ・国事業名 水産環境整備事業

資料：県水産課調べ

（2）貝類増殖場造成事業（非公共）

年度	箇所数	事業量	事業費	国 費	県 費	地 元	備 考
			千円	千円	千円	千円	
2019	1	1.2ha	29,983	13,967	16,016	—	・実施場所 西尾 ・国事業名 漁港機能増進事業

資料：県水産課調べ

（3）貝類増殖場造成事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国 費	県 費	地 元	備 考
				千円	千円	千円	千円	
第 4 次長計	2019～2021	6	6.5ha	171,738	83,325	88,413	—	・実施場所 西尾 ・国事業名 水産環境整備事業
第 5 次長計	2022～2026	8	11.7ha	612,804	300,309	312,495	—	・実施場所 美浜、南知多、西尾、蒲郡 ・国事業名 水産環境整備事業

資料：県水産課調べ

Ⅳ 漁 業 生 産

24 漁業総生産

(1) 生産量

(単位：t)

年	海面			内水面			合計	きんぎょ (千尾)
	漁業	養殖業	計	漁業	養殖業	計		
2015	72,056	12,679	84,735	165	6,485	6,650	91,385	8,527
2016	77,711	13,330	91,041	145	6,127	6,272	97,313	8,495
2017	69,970	13,746	83,716	123	7,146	7,269	90,985	5,987
2018	61,727	11,213	72,940	148	4,858	5,006	77,946	6,745
2019	59,934	9,744	69,678	111	5,725	5,836	75,514	6,547
2020	53,459	10,292	63,751	84	5,668	5,752	69,503	5,496
2021	52,835	8,264	61,099	64	6,712	6,776	67,875	4,810
2022	37,581	7,891	45,472	57	5,434	5,491	50,963	4,627
2023	38,589	9,391	47,980	76	4,763	4,839	52,819	3,774
2024	27,927	8,637	36,564	77	5,246	5,323	41,887	3,621

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）内水面漁業ときんぎょは県水産課調べ。

小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

(2) 産出額

(単位：百万円)

年	海面			内水面			合計	うち きんぎょ
	漁業	養殖業	計	漁業	養殖業	計		
2015	17,975	3,950	21,925	322	17,641	17,963	39,888	461
2016	14,406	4,488	18,894	328	19,157	19,485	38,379	430
2017	12,632	5,105	17,737	330	21,531	21,861	39,598	333
2018	17,297	3,587	20,883	311	17,750	18,061	38,944	324
2019	15,873	3,516	19,390	262	21,236	21,498	40,888	271
2020	13,123	2,856	15,979	217	19,256	19,473	35,452	321
2021	13,472	2,020	15,491	197	21,830	22,027	37,518	277
2022	11,708	2,672	14,380	165	21,912	22,077	36,457	260
2023	16,851	2,993	19,844	214	20,154	20,368	40,212	276
2024	11,261	5,504	16,765	177	22,548	22,725	39,490	282

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）きんぎょは県水産課調べ。内水面漁業・養殖業の産出額は、県水産課が推計。

小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

25 海面漁業魚種別漁獲量

(単位：t)

年		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
魚種											
魚類	こ の し ろ	179	112	122	110	193	109	65	49	40	47
	ま い わ し	11,904	18,764	30,209	23,787	10,905	8,880	16,551	2,700	4,322	1,392
	か た く ち い わ し	14,848	22,570	11,246	8,684	13,510	15,955	7,030	10,489	8,957	10,130
	し ら す	11,445	8,445	5,039	6,821	11,433	9,428	9,619	4,235	4,712	2,881
	ま あ じ	228	214	211	189	379	225	124	516	2,775	1,369
	む ろ あ じ 類	30	27	20	13	12	6	5	79	84	9
	さ ば 類	208	208	228	74	328	219	37	185	359	9
	ぶ り 類	68	81	101	74	181	422	60	65	62	43
	さ わ ら 類	65	68	148	222	269	261	151	91	93	107
	い か な ご	2,247	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ひ ら め	186	182	176	214	227	205	125	128	111	91
	か れ い 類	603	391	341	337	333	309	287	285	316	225
	あ な ご 類	351	319	269	254	233	128	99	x	73	44
	た ち う お	49	60	46	66	55	67	x	56	40	42
	に ぎ す 類	419	419	426	351	351	310	272	210	153	x
	ま だ い	419	551	595	483	651	629	710	648	447	606
	く ろ だ い ※ 1	414	351	356	278	279	260	220	245	232	260
	い さ き	22	30	22	27	24	11	11	17	23	18
	す ず き 類	598	629	458	443	425	377	266	286	340	236
	と ら ふ ぐ ※ 2	82	57	69	39	42	34	32	41	57	66
	あ お め え そ ※ 2	399	460	381	341	341	324	303	306	220	239
	そ の 他 魚 類 ※ 3	2,562	2,919	2,338	2,331	3,148	2,002	2,260	2,372	2,728	2,067
	計	47,326	56,857	52,801	45,138	43,319	40,161	38,227	23,003	26,144	19,881
貝類	あ さ り 類	8,282	3,973	1,635	2,741	3,880	1,602	2,364	3,001	2,896	1,057
	さ ざ え	62	71	83	65	42	50	45	66	50	29
	あ わ び 類	2	2	2	1	1	1	2	2	3	2
	そ の 他 貝 類	5,728	5,160	4,480	5,145	3,816	2,430	3,009	2,906	2,926	1,980
	計	14,074	9,206	6,200	7,952	7,739	4,083	5,420	5,975	5,875	3,067
水産動物類	す る め い か	97	71	81	53	84	53	67	94	36	28
	そ の 他 い か 類	586	559	630	441	499	412	323	376	423	431
	た こ 類	414	594	346	157	520	380	203	140	94	123
	く る ま え び	72	79	64	86	83	75	67	75	72	67
	よ し え び ※ 2	12	11	18	6	23	21	13	9	9	18
	そ の 他 え び 類 ※ 3	731	764	365	829	356	465	751	402	209	303
	が ざ み 類	316	248	219	185	532	640	532	369	383	269
	そ の 他 か に 類	48	41	47	79	80	94	57	93	96	132
	な ま こ 類 ※ 2	191	150	199	154	122	123	125	78	92	73
	し ゃ こ ※ 2	266	216	103	216	104	67	51	69	56	28
	その他水産動物類※3	68	99	45	167	105	176	838	435	48	68
	計	2,800	2,831	2,118	2,372	2,509	2,506	3,027	2,070	1,518	1,540
藻類		7,856	8,817	8,851	6,265	6,367	6,709	6,161	6,533	5,052	3,439
合計		72,056	77,711	69,970	61,727	59,934	53,459	52,835	37,581	38,589	27,927

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

※1：「くろだい」は2018年以前は「くろだい・へだい」

※2：県調べの魚種（「なまこ類」は2018年以前は県調べ、2019年以降は国調べ）

※3：県調べの魚種の漁獲量を控除しているため、海面漁業生産統計調査での数値とは異なる。

26 海面漁業魚種別産出額

(単位：百万円)

年 魚種		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
魚 類	こ の し ろ	20	15	21	24	22	15	8	8	11	5
	ま い わ し	631	901	1,297	897	502	414	761	117	361	126
	かたぐちいわし	445	745	439	326	851	699	356	657	861	818
	し ら す	5,219	3,724	2,786	6,746	5,185	4,582	3,680	2,010	5,128	2,925
	ま あ じ	148	163	151	138	107	49	31	141	546	258
	む ろ あ じ 類	3	5	4	3	2	1	1	8	10	1
	さ ば 類	62	81	86	50	69	23	4	24	64	2
	ぶ り 類	47	53	52	39	130	195	22	26	24	19
	さ わ ら 類	52	59	125	201	204	192	127	80	102	109
	い か な ご	510	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひ ら め	172	190	197	314	254	214	121	152	153	129
	か れ い 類	214	144	137	187	147	123	131	152	177	133
	あ な ご 類	206	242	277	297	197	169	118	x	70	37
	た ち う お	23	25	21	17	17	21	x	35	41	28
	に ぎ す 類	84	82	85	67	79	66	56	58	51	x
	ま だ い	344	428	476	539	546	444	461	523	428	536
	くろだい※1	166	149	170	182	134	110	76	123	134	130
貝 類	い さ き	24	34	23	22	12	6	6	11	17	13
	す ず き 類	313	323	264	231	236	166	125	170	217	155
	そ の 他 魚 類	1,778	1,802	1,554	1,474	1,756	1,059	1,146	1,256	1,460	1,459
	計	10,461	9,165	8,165	11,754	10,450	8,548	7,230	5,551	9,855	6,883
	あ さ り 類	2,476	1,260	830	1,527	1,494	1,181	1,964	2,194	2,673	987
水 産 動 物 類	さ ざ え	42	46	52	43	44	33	32	60	57	36
	あ わ び 類	13	10	10	6	4	10	24	40	41	22
	そ の 他 貝 類	2,841	1,739	1,659	1,930	1,755	1,179	1,505	1,638	1,961	1,267
	計	5,372	3,054	2,551	3,506	3,297	2,403	3,525	3,932	4,732	2,313
	す る め い か	27	22	26	23	30	28	41	59	32	26
藻 類	そ の 他 い か 類	241	236	283	313	231	330	228	285	400	355
	た こ 類	300	399	334	178	448	267	159	166	92	154
	く る ま え び	370	436	380	345	362	298	317	314	335	314
	そ の 他 え び 類	407	375	265	464	272	315	294	288	329	343
	が ざ み 類	241	203	183	155	369	487	443	360	388	279
	そ の 他 か に 類	24	23	25	61	36	40	27	52	60	78
	その他水産動物類	461	388	278	316	206	219	1,023	512	168	192
	計	2,071	2,081	1,774	1,855	1,954	1,984	2,532	2,035	1,803	1,741
藻類		71	106	142	182	172	188	185	190	461	324
合計		17,975	14,406	12,632	17,297	15,873	13,123	13,472	11,708	16,851	11,261

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

※1：「くろだい」は2018年以前は「くろだい・へだい」

27 海面漁業種類別魚種別漁獲量（2024 年）

（単位：t）

漁業種類 魚種	愛知県	うち、主な漁業種類						
		沖合底 びき網	小型底 びき網	船 び き 網	刺 網	はえ縄	釣	その他 漁 業
魚 類 計	19,881	797	2,425	15,937	374	44	151	153
さ め 類	3	0	3	-	0	-	-	0
こ の し ろ	47	-	5	14	8	-	0	20
ま い わ し	1,392	-	0	1,390	0	-	0	2
うるめいわし	26	-	0	26	0	-	0	0
かたくちいわし	10,130	-	1	10,129	-	-	-	0
し ら す	2,881	-	-	2,881	-	-	-	0
ま あ じ	1,369	11	138	1,207	2	-	7	4
む ろ あ じ 類	9	0	8	0	0	-	0	1
さ ば 類	9	2	2	3	0	-	1	1
ぶ り 類	43	-	9	7	5	0	11	11
さ わ ら 類	107	-	17	2	80	0	8	0
ひ ら め	91	-	76	0	6	-	7	2
か れ い 類	225	3	182	0	31	0	5	4
あ な ご 類	44	-	15	0	5	-	0	24
た ち う お	42	0	26	14	1	-	0	1
に ぎ す 類	x	92	13	-	-	-	-	x
ま だ い	606	19	514	24	16	0	30	3
く ろ だ い	260	-	215	1	23	-	5	16
い さ き	18	-	15	-	2	-	1	0
す ず き 類	236	-	180	21	10	-	16	9
ふ ぐ 類	244	-	186	5	6	38	2	7
そ の 他 魚 類	1,992	670	820	213	179	6	58	46
貝 類 計	3,067	-	807	-	13	-	-	2,247
あ さ り 類	1,057	-	416	-	-	-	-	641
さ ざ え	29	-	-	-	9	-	-	20
あ わ び 類	2	-	-	-	0	-	-	2
そ の 他 貝 類	1,980	-	391	-	4	-	-	1,585
水 産 動 物 類 計	1,540	81	927	95	145	0	4	288
す る め い か	28	11	17	-	0	-	-	0
そ の 他 い か 類	431	9	391	0	25	-	0	6
た こ 類	123	-	63	0	9	0	4	47
く る ま え び	67	-	56	-	11	-	-	0
い せ え び	10	-	1	-	8	-	-	1
そ の 他 え び 類	310	61	215	21	14	-	-	0
が ざ み 類	269	-	133	0	53	-	-	83
そ の 他 か に 類	132	-	19	-	24	-	-	89
な ま こ 類	73	-	10	-	1	-	-	62
う に 類	0	-	0	-	-	-	-	0
その他水産動物類	97	-	22	74	0	-	-	1
藻 類	3,439	-	0	-	-	-	-	3,439
合 計	27,927	877	4,161	16,032	532	44	155	6,126

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

28 内水面漁業魚種別漁獲量

(単位：t)

年 魚種		2019	2020	2021	2022	2023	2024
魚 類	ま す 類	11	12	13	13	15	10
	あ ゆ	57	49	45	38	38	32
	こ い	2	2	2	2	2	1
	ふ な	3	2	2	2	3	2
	そ の 他	2	2	1	1	3	1
貝類（しじみ）		35	17	0	1	15	29
その他水産動物類		0	0	0	0	0	0
計		111	84	64	57	76	77

注) 小数第1位を四捨五入するため、合計と一致しないことがある。
「貝類（しじみ）」は農林水産統計公表値による。

資料：県水産課調べ

29 内水面漁業魚種別産出額

(単位：百万円)

年 魚種		2019	2020	2021	2022	2023	2024
魚 類	ま す 類	22	25	37	30	45	25
	あ ゆ	217	174	155	130	150	131
	こ い	1	1	1	1	1	1
	ふ な	1	1	1	1	2	2
	そ の 他	4	4	3	2	9	4
貝類（しじみ）		17	10	0	1	7	15
その他水産動物類		0	0	0	0	0	0
計		262	215	197	165	214	177

注) 小数第1位を四捨五入するため、合計と一致しないことがある。

資料：県水産課が全国平均単価をもとに推計

30 内水面養殖業魚種別収獲量

(単位：t)

年 魚種		2019	2020	2021	2022	2023	2024
に じ ま す 類	に じ ま す	167	137	148	148	103	120
	そ の 他 ま す 類	x	x	x	x	x	28
	あ ゆ	1,171	1,189	1,247	1,057	833	844
	こ い	x	x	x	x	x	0
	う な ぎ	4,357	4,315	5,288	4,205	3,810	4,255
計		5,725	5,668	6,712	5,434	4,763	5,246

資料：内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注) 2019年から2023年のその他ます類とこいは秘匿値。
小数第1位を四捨五入するため、合計と一致しないことがある。

31 内水面養殖業魚種別産出額

(単位：百万円)

年 魚種		2019	2020	2021	2022	2023	2024
に じ ま す 類	に じ ま す	150	129	153	170	136	174
	そ の 他 ま す 類	x	x	x	x	x	60
	あ ゆ	1,766	1,832	1,998	1,891	1,655	1,846
	こ い	x	x	x	x	x	0
	う な ぎ	18,927	16,975	19,402	19,591	18,087	20,186
き ん ぎ よ		271	321	277	260	276	282
計		21,114	19,257	21,830	21,912	20,154	22,548

資料：県水産課が全国平均単価をもとに推計

注) 県水産課が全国平均単価をもとに推計（きんぎよは水産課調べ、前年12月1日から当年11月30日までの集計値）。
2019年から2023年の合計はにじます、あゆ、うなぎ、きんぎよのみ。

32 観賞魚養殖状況

年 魚種		2019	2020	2021	2022	2023	2024
きんぎょ	経営体数	75	70	66	60	60	56
	養殖面積(ha)	52	53	46	41	40	39
	販売量(千尾)	6,547	5,496	4,810	4,627	3,774	3,621

資料：県水産課調べ

注) 年は前年12月1日から当年11月30日までを示す。

33 しらすうなぎ池入数量

(単位：kg)

年度 地区		2019	2020	2021	2022	2023	2024
県内産	海 部	1	6	3	2	1	1
	碧 海	7	19	17	11	-	-
	西三河	316	1,575	1,006	635	370	360
	東三河	68	265	209	130	145	120
	その他	0	0	0	0	0	0
	計	391	1,865	1,235	777	517	481
県外産	海 部	32	41	45	39	12	27
	碧 海	132	278	198	196	-	-
	西三河	655	1,631	1,594	1,125	1,189	1,253
	東三河	95	83	150	65	12	110
	その他	0	12	1	30	0	0
	計	914	2,044	1,988	1,455	1,213	1,390
外国産	海 部	0	0	0	0	0	0
	碧 海	126	70	91	40	-	-
	西三河	2,058	645	1,103	1,083	1,857	1,755
	東三河	76	25	12	87	203	113
	その他	30	16	33	0	30	30
	計	2,290	756	1,238	1,210	2,090	1,898
県計	海 部	32	46	48	41	13	28
	碧 海	265	367	306	246	-	-
	西三河	3,029	3,851	3,703	2,843	3,416	3,368
	東三河	239	372	371	282	360	343
	その他	30	28	34	30	30	30
	うち異種うなぎ	1	12	3	0	0	1
	計	3,595	4,665	4,461	3,442	3,819	3,768

資料：県水産課調べ

注) 年度表記は前年12月から当年5月とする。

その他の地区は尾張、知多、豊田加茂である。

2023年から西三河は碧海を含む。

異種うなぎを含む数値。

小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

V 流通加工

34 中央卸売市場における水産物の取扱数量・金額、平均価格

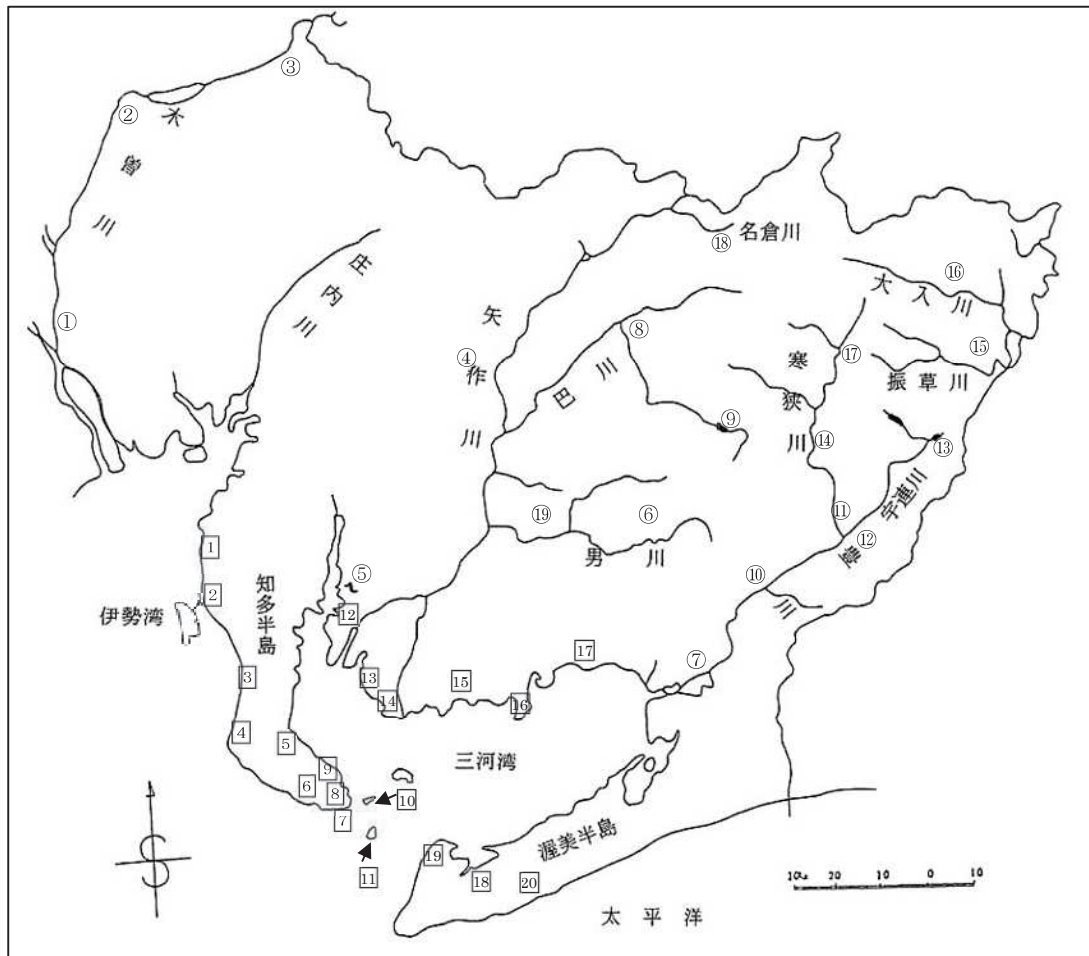
取扱数量：t
取扱金額：百万円
平均価格：円/kg

年 区分		2019	2020	2021	2022	2023	2024
生鮮水産物	取扱数量	51,942	51,128	50,429	44,157	42,402	43,248
	取扱金額	53,627	49,088	49,706	52,348	53,564	54,490
	平均価格	1,032	960	986	1,185	1,263	1,260
冷凍水産物	取扱数量	19,334	19,020	18,880	16,763	15,417	15,217
	取扱金額	25,836	23,717	25,266	26,219	24,784	25,404
	平均価格	1,336	1,247	1,338	1,564	1,608	1,669
加工水産物	取扱数量	28,886	29,769	28,806	26,447	25,847	22,275
	取扱金額	29,359	29,033	28,448	28,803	28,662	26,484
	平均価格	1,016	975	988	1,089	1,109	1,189
加工食料品	取扱数量	13,490	11,864	12,091	10,760	9,776	8,882
	取扱金額	7,440	7,663	7,434	6,858	6,882	6,739
	平均価格	551	646	615	637	704	759
計	取扱数量	113,652	111,781	110,205	98,128	93,442	89,622
	取扱金額	116,262	109,501	110,853	114,228	113,892	113,117
	平均価格	1,023	980	1,006	1,164	1,219	1,262

資料：名古屋市中央卸売市場年報（名古屋市）

(付 属 資 料)

35 沿海漁業協同組合及び内水面漁業協同組合の位置図 (2026年4月1日現在)



沿海漁業協同組合

1	鬼崎	11	篠島
2	常滑	12	大浜
3	小鈴谷	13	西三河
4	野間	14	衣崎
5	美浜町	15	三河幡豆
6	豊浜	16	蒲郡
7	師崎	17	三谷
8	片名	18	渥美
9	大井	19	小中山
10	日間賀島	20	愛知外海

内水面漁業協同組合

①	立田	⑪	寒狭川下
②	木曾川	⑫	三輪川下
③	愛北	⑬	宇連川
④	矢作川	⑭	寒狭川中部
⑤	油ヶ渚	⑮	振草川
⑥	男川	⑯	大入川
⑦	下豊川	⑰	寒狭川上流
⑧	巴川	⑱	名倉川
⑨	三河湖	⑲	岡崎市
⑩	豊川上		

36 2025年度（2025年4月～2026年3月）の主な水産年譜

年 月 日	内 容
2025 4. 29	愛知県漁業協同組合連合会副会長理事 黒田勝春氏 叙勲（旭日双光章）
5. 20	幡豆漁協と東幡豆漁協が合併仮契約書に調印
6. 7	令和7年度愛知の水産研究活動報告会（於名古屋市中・水産会館）
7. 1	藻類貝類養殖技術修練会（於西尾市・一色町公民館 カーネーションホール）
7. 1	ぶりのTAC管理開始
7. 15	愛知県養鰻漁業者協会が知事に愛知県産うなぎをPR（於名古屋市中・愛知県公館）
8. 8	海とお魚漁業体験教室（於蒲郡市・水産試験場）
9.1～3.31	水質の保全と「豊かな海」の両立に向けた社会実験（継続）の実施
10. 25	水産試験場公開デー（於蒲郡市・水産試験場）
11. 2	水産海洋学会 若手優秀講演賞受賞（和地技師：餌料環境の違いによるアサリを中心とした干潟生態系の生物量と水質の変化）
11. 5	漁業士認定式（於名古屋市中・愛知県庁）
11. 12	JFフードサービスパートナーズ商談会2025にて大型雌ウナギ生産技術をPR（於東京都品川区・TOCビル・五反田）
11. 17	日間賀島漁業協同組合代表理事組合長 鈴木惣和氏 県条列表彰
11. 19	西三河漁業協同組合代表理事組合長 中根静夫氏 漁協運動功労者表彰
11. 27	農林水産技術会議「若手農林水産研究者表彰」農林水産技術会議会長賞を受賞（稲葉主任：ウナギの雌化と食味に優れた大型雌ウナギ生産技術の確立）
11. 29	水産海洋学会地域研究集会 第20回 伊勢・三河湾の環境と漁業を考える「伊勢・三河湾をめぐる環境変動と水産資源の今後」（於三重県津市三重県津庁舎）
12. 4	大型雌うなぎブランド「葵うなぎ」のPRイベント「まるっと一日葵うなぎDAY」（於名古屋市中・炭焼うなぎ富士本店）
2026 1. 5	幡豆漁協と東幡豆漁協が合併し、三河幡豆漁業協同組合が発足
1. 15	栽培漁業センター無脊椎動物・藻類生産棟 竣工
2. 17	愛知の新たなブランド「養殖あさり」を知事の名刺でPR
2.21～2.22	愛知県産養殖カキのPRイベント（於南知多町・食事処かねだ、田原市・道の駅伊良湖クリスタルボルト）
2. 22	栽培漁業センター無脊椎動物・藻類生産棟竣工式（於田原市）
2.25～2.26	第23回シーフードショー大阪にて大型雌ウナギ生産技術をPR（於大阪府大阪市住之江区・ATCホール）
2. 27	令和7年度水産試験場研究発表会（於蒲郡市・水産試験場）
3. 19	水産試験場内水面漁業研究所 研究施設長寿命化改修工事完了
3. 21	水産海洋学会 論文賞受賞（曽根主任研究員、日比野課長補佐：伊勢湾における生態系構造と生物生産力の変化）
3. 27	三河湾の全窒素及び全りんに係る環境基準の水域類型の指定の見直し（Ⅱ→Ⅲ類型）告示

37 愛知県の水産業に関する地勢

項 目	数 量	出 典
海 岸 線 総 延 長	593 km	海岸統計 2024年度版（国土交通省水管理・国土保全局）
法 河 川 延 長	2,964 km	県建設局（2026年4月1日現在）
伊 勢 湾 面 積	1,738 km ²	伊勢湾、三河湾及び東京湾の形態と汚染負荷（西条・宇野木、1979）
三 河 湾 面 積	604 km ²	

動向調査資料 No. 195 水産業の動き

2026 年 9 月発行

愛知県農業水産局水産課

〒460－8501

名古屋市中区三の丸三丁目 1－2

電 話 (052) 961-2111 (代表) 内線 3783・3786
(052) 954-6458 (ダイヤル)

F A X (052) 951-1645

E-mail suisan@pref.aichi.lg.jp

Home page <https://www.pref.aichi.jp/suisan/>



いいともあいち運動シンボルマーク